

平成28年度

事業報告書

(自)平成28年 4月 1日

(至)平成29年 3月31日

平成28年度 社会福祉法人 釧路のぞみ協会 法人運営計画表

	理事会・評議員会	監事会(監査)	役員研修会等	会議その他	関連事項
4月	第1回理事会・評議員会				辞令交付式
5月		平成27年度第4四半期 (決算)		第1回施設長会議 第1回運営検討委員会	
6月			社会福祉法人経営セミナー		決算・現況報告書開示
7月					
8月		平成28年度 第1四半期 (経理・運営全般)		第2回施設長会議 第2回運営検討委員会	
9月	第2回理事会・評議員会		役員・評議員研修会		
10月					
11月		平成28年度 第2四半期 (経理・運営全般)		第3回施設長会議 第3回運営検討委員会	
12月	第3回理事会・評議員会		役員・評議員研修会		
1月					新年挨拶
2月		平成28年度 第3四半期 (経理・運営全般)		第4回施設長会議 第4回運営検討委員会	
3月	第4回理事会・評議員会				
備考		研修報告会(随時)		施設経営状況の開示(随時) 中長期ビジョン委員会(随時)	

平成28年度 社会福祉法人 釧路のぞみ協会 運営事業

釧路のぞみ協会													
自立センター							さわらび学園					はしどい学園	
指定相談支援事業所 自立センター	ジョブコーチ事業	くしろ・ねむろ障がい者 就業・生活支援センター ぷれん	自立センター グループホーム ブルミエ	くしろジョブ リカバリーセンター ぶろぐれ	くしろジョブ コミュニケーションセンター れぼぜ	くしろジョブ トレーニングセンター あらんじえ	プロムナード釧路	社会就労センター らびい	障がい者支援施設 さわらび学園			はしどい学園分場	はしどい学園
・指定一般相談支援事業 ・指定特定相談支援事業 ・指定障害児相談支援事業	・第1号型職場適応援助者事業	・障がい者就業・生活支援センター事業	・共同生活援助事業 (外部委託型)	・自立訓練事業	・就労継続支援B型事業	・就労移行支援事業	・共同生活援助事業 (介護サービス包括型)	・就労継続支援B型事業	・短期入所事業	・生活介護事業	・施設入所事業	・就労継続支援A型事業	・就労継続支援B型事業
			定員 38名	定員 7名	定員 33名	定員 36名	定員 39名	定員 30名	定員 4名	定員 40名	定員 40名	定員 20名	定員 30名

平成28年度 社会福祉法人釧路のぞみ協会 事業報告

平成29年3月31日

【理事会】

開催日	主な協議事項	出席	書面評決
平成28年5月24日	平成27年度各会計決算(案)について・平成28年度釧路のぞみ協会運営指針について	5名	3名
平成28年9月15日	給与規定の一部改正について	6名	2名
平成28年12月1日	釧路のぞみ協会定款(案)について・評議員選任・解任委員会運営規定(案)について	7名	1名
平成28年12月22日	平成28年度各会計補正予算(案)について・社会福祉充実計画について・次期評議員について	6名	2名
平成28年2月9日	次期役員等について	6名	2名
平成28年3月23日	平成28年度各会計補正予算(案)について・平成29年度各事業計画について 平成29年度各資金収支予算(案)について・経理規定の改正について 修学資金貸付規程について	6名	1名

【評議員会】

開催日	主な協議事項	出席
平成28年5月24日	平成27年度各会計決算(案)について・平成28年度釧路のぞみ協会運営指針について	13名
平成28年9月15日	給与規定の一部改正について	12名
平成28年12月1日	釧路のぞみ協会定款(案)について・評議員選任・解任委員会運営規定(案)について	9名
平成28年12月22日	平成28年度各会計補正予算(案)について・評議員選任・解任委員会について 社会福祉充実計画について	12名
平成28年3月23日	新制度による理事について・平成28年度各会計補正予算(案)について 平成29年度各事業計画について・平成29年度各資金収支予算(案)について 経理規定の改正について・修学資金貸付規程について	14名

【監査】

開催日	内容	主な指摘事項
平成28年5月10日	平成27年度決算	帳簿残高と固定資産台帳の残高を合わせること
平成28年8月29日	平成28年度第1四半期	特記事項なし
平成28年11月16日	平成28年度第2四半期	固定資産の除去について、手続きのガイドラインを作成し一定時点における実査等による確認が必要
平成28年2月16日	平成28年度第3四半期	特記事項なし

【会議等】

開催日	内容	主な協議事項
平成28年5月10日	平成28年度 第1回 施設長会議	平成27年度決算監査報告・特定就職困難者雇用開発助成金について・平成27年度消費税の納付について・社会福祉法人制度改革について
平成28年5月16日	平成28年度 第1回 運営検討委員会	平成27年度決算監査報告・特定就職困難者雇用開発助成金について・就業規則の一部改正について・平成27年度決算報告書について

平成28年9月5日	平成28年度 第2回 施設長会議	平成28年度第1四半期監査報告・給与規定の改正について・定款(案)について
平成28年9月12日	平成28年度 第2回 運営検討委員会	平成28年度第2四半期監査報告・給与規定の改正について・定款(案)について
平成28年12月12日	平成28年度 第3回 施設長会議	平成28年度第2四半期監査報告・釧路のぞみ協定会款について・評議員選任・解任委員会について・社会福祉充実財産について
平成28年12月15日	平成28年度 第3回 運営検討委員会	平成28年度第2四半期監査報告・釧路のぞみ協定会款について・評議員選任・解任委員会について
平成29年2月21日	平成28年度 第1回 評議員選任・解任 委員会	次期評議員の選任について
平成29年3月2日	平成28年度 第4回 施設長会議	平成28年度第3四半期監査報告・経理規定の改正について・貸付制度について・昇格・昇給者について・処遇改善加算について・平成29年度本部会計繰入金について
平成29年3月6日	平成28年度 第4回 運営検討委員会	平成28年度第3四半期監査報告・経理規定の改正について・貸付制度について・処遇改善加算について・平成29年度本部会計繰入金について

【研修等】

開催日・開催地	主催	内容等
平成28年7月7日 札幌市	北海道社会福祉協議会・北海道社会福祉法人経営者協議会・全国社会福祉協議会・全国社会福祉法人経営者協議会	●社会福祉法改正への対応と実践 講師：武居 敏 氏（全国社会福祉法人経営者協議会副会長/社会福祉法人松溪会理事長）
平成28年9月30日 帯広市	北海道社会福祉協議会・北海道社会福祉法人経営者協議会	●社会福祉法人の経営基盤強化に向けて 講師：千葉 正展 氏（独立行政法人福祉医療機構 経営サポートセンターコンサルティンググループリーダー） ●社会福祉法人の運営と指導監査について 講師：北海道保健福祉部福祉局施設運営指導課 法人運営グループ
平成28年11月21日 札幌市	北海道社会福祉協議会・北海道社会福祉法人経営者協議会・北海道老人福祉施設協議会	●社会福祉法改正への対応について 講師：本永 史郎 氏（公益社団法人全国老人福祉施設協議会総務・組織委員会委員長・広島県社会福祉法人経営者協議会会長・社会福祉法人本永福祉会理事長） ●地域における公益的な取組について 講師：浦野 正男 氏（全国社会福祉法人経営者協議会地域公益事業推進委員長・社会福祉法人中心会理事長） ●公認会計士等の監査について 講師：馬場 充 氏（日本公認会計士協会非営利法人委員会社会福祉法人分科会長）
平成29年1月30日 札幌市	北海道社会福祉法人経営者協議会	●改正法を活かした社会福祉法人の経営 講師：谷村 誠 氏（全国社会福祉法人経営者協議会経営対策委員会委員長・制度・政策委員会委員） ●改正法施行に向けたチェックポイント 講師：全国社会福祉法人経営者協議会事務局

平成28年度 社会福祉法人釧路のぞみ協会 はしどい学園 事業報告

1. 事業の目的

指定就労継続支援A型及び指定就労継続支援B型の円滑な運営を図るとともに、利用者の意思及び人格を尊重して、常に利用者の立場に立った適切なサービスの提供を確保することを目的とする。

2. 運営の方針

指定就労継続支援A型及び指定就労継続支援B型事業の実施に当たって事業所は、別途利用者との契約に基づき、利用者の意向、適正、障害の特性その他の事情を踏まえた個別支援計画を作成して、利用者が自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、就労の機会を提供するとともに、生産活動その他の活動の機会を通して、その知識及び能力の向上のために必要な訓練その他の便宜を適切かつ効果的に行うものとする。

3. 事業の概要(生産活動の提供)

(1) 指定就労継続支援B型(はしどい学園本体)

- ① 珍味販売
各種珍味の袋詰め、昆布の袋詰め等の請負作業
- ② 手芸品の作成
卒業・入学用の胸章作り、歳時等に則した作品作り
- ③ 包製作業
各種箱折り、割り箸の袋詰めの請負作業
- ④ 昼食作り
施設利用者の昼食作り、提供
- ⑤ 施設外就労
業務委託契約を締結した企業へ出向いての就労作業

(2) 指定就労継続支援A型(はしどい学園分場)

- ① オフセット印刷の受注・販売
名刺、封筒、帳票、年賀状、パンフレット等の各種オフセット印刷
- ② プレート彫刻
ネームプレートの彫刻・ピン付け、タオル・カレンダー等の受注販売
- ③ 廃油石けんの製造・販売
食用の廃油を利用して石けんの製造・販売
- ④ 請負作業
段ボールの中仕切り加工、シール貼り等の請負作業
- ⑤ 施設外就労
業務委託契約を締結した企業へ出向いての就労作業

4. 利用定員と職員配置

- (1) 利用定員 はしどい学園本体～就労継続支援B型 30名(現員38名)
はしどい学園分場～就労継続支援A型 20名(現員25名)
- (2) 職員配置 はしどい学園本体～○管理者1名 ○サービス管理責任者1名(管理者兼務)
○生活支援員1名 ○職業指導員8名 ○栄養士1名
○目標工賃達成指導員1名 ○事務員1名(合計13名)
はしどい学園分場～○管理者1名(本体と兼務)○サービス管理責任者1名
○生活支援員1名 ○職業指導員3名(合計5名)

5. 年度の重点

- (1) 障害者虐待防止法を遵守するとともに、障害者差別解消法に基づき合理的な配慮を実施する。
- (2) 個別支援計画に基づく支援とケース会議によるサービス内容の検証を行う。
- (3) 外部研修等に参加し、職員の支援スキル、支援意識の向上を図る。

社会福祉法人 釧路のぞみ協会 はしどい学園

平成29年3月31日現在

1.職員の状況

職 種 勤務形態	施設長 (管理者)	サービス管理 責任者	目標工賃達成 指導員	生活支援員	職業指導員	栄養士
常 勤 専 従	1	1	1	1	1	0
常 勤 兼 務	0	0	0	0	1	1
非 常 勤 専 従	0	0	0	1	7	0
非 常 勤 兼 務	0	0	0	0	0	0
合 計	1	1	1	2	9	1

2.利用者の状況

(1)年齢別在籍者数

定員	現員	平均年齢			最高齢	最年少
		男性	女性	全体		
30名	37名	35.2	40.6	37.2	78歳	21歳

	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～	計(人)
男	0	7	8	7	1	0	0	0	23
女	0	4	3	4	2	0	1	0	14

(2)上記利用者在籍期間(新体系に移行してからの在籍期間)

期間 性別	1年未満	1～3年 未満	3～5年 未満	5～10年 未満	10～15年 未満	15～20年 未満	20～25年 未満	25～30年 未満	30年以上	計(人)
男	1	5	2	15	0	0	0	0	0	23
女	0	0	3	11	0	0	0	0	0	14

(3)利用の状況(人)

	前年度から 継続利用	本年度中の 新利用者数	生活の場				
			家庭	他施設	病院	グループホーム	その他
男	23	1	20	0	0	3	0
女	14	0	12	0	0	2	0

※その他の内訳()

(4)退所の状況(人)

	本年度中の 退所者数	退所後の生活の場				
		家庭	他施設	病院	グループホーム	その他
男	1	1	0	0	0	0
女	1	1	0	0	0	0

※その他の内訳()

(5)障害の状況

①障害種別(手帳保持者重複計上)

	身体障害	知的障害	精神障害	合 計
男	1	22	1	24
女	1	14	0	15
計	2	36	0	39

※自立支援医療受給者証保持者 0人

②障害支援区分

	区分なし	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	その他
男	3	0	3	7	9	1	0	23
女	2	0	1	6	3	2	0	14
計	5	0	4	13	12	3	0	37

(6)健康管理実施状況

実施項目	実施日	対象者数(人)
内科検診	平成28年5月13日・27日	37
肺ガン健診(X-P検査)	平成28年11月11日	14
歯牙検診	平成29年1月14日	17
内科検診2回目	平成28年10月14日・21日	36
インフルエンザ予防接種	平成28年11月16日・18日	29

(7)利用者状況

	定員	現員	区分							
			区分なし	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
はしどい学園	30名	37名	5	0	4	13	12	3	0	37

(8)事業実施状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(日)
営業日数	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	20	23	269

[illegible]

3.防災

①防災訓練の実施状況

訓練の名称	実施月	想定災害	実施時間帯	訓練内容			
				通報	消火	避難	詳細
避難訓練	28年5月	火災	日中	○	○	○	・厨房から火災が発生した想定で屋外の安全な場所まで避難する訓練を実施。終了後に消火
避難訓練	28年8月	地震津波	日中	—	—	○	・地震発生に伴う津波の避難勧告が出された想定で地域の避難所まで避難する訓練を実施。
避難訓練	28年11月	地震火災	日中	○	—	○	・厨房作業室から火災が発生した想定して屋外の安全な場所まで避難する訓練を実施。終了後に消火訓練を実施

4.人材の育成

①施設内研修実施状況

実施日	研修テーマ	参加人数
平成28年5月28日	・はしどい学園マニュアルについて ・職員就業規則について ・障害者虐待防止法について	11名
平成28年6月28日	・研修報告（メンタルヘルスについて） ・研修報告（コミュニケーション改善で企業力アップ）	11名
平成28年7月30日	・普通救命講習	13名
平成28年9月27日	・非常災害対策・水害に備えた警戒避難体制・危機発生時の連絡体制	13名
平成28年11月26日	・研修報告（思考の明確化） ・衛生マニュアルについて	13名
平成28年12月3日	・研修報告（道東知的障がい福祉協会新任研修会） ・全国知的障がい福祉関係職員研究大会	14名
平成29年1月16日	・障害者虐待について	13名
平成29年2月13日	・はいどい学園マニュアル書について	9名
平成29年3月25日	・平成27年度インシデント報告 ・口腔機能について	11名

②施設外研修実施状況

実施日	研修名・場所	講師	参加人数
平成28年5月22日	障害者差別解消法 （釧路町あいぱ〜る）	株式会社ミライロ 講師 日本ユニバーサルマナー協会 理事 岸田 ひろ実氏	1名
平成28年5月29日	親亡きあとも自閉症の人たちが豊かな生活をおくるために （釧路町あいぱ〜る）	独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園事業企画局研究部 志賀 利一氏	3名
平成28年6月2日	メンタルヘルス講習会 （釧路市交流プラザさいわい）	さぼーとステーション代表 ビヨンドサポーター(株) 代表取締役 安藤 亘氏	1名
平成28年6月15日	SSTスキルアップ研修会『心理教育』 （生涯学習センターまなぼっと）	office夢風舎 舎長 土屋 徹氏	2名

平成28年6月16日	攻めのメンタルヘルス対策のための制度活用術 (釧路プリンスホテル)	株式会社アドバンテッジリスクマネジメント 第3営業部 部長 仲矢 英之氏	1名
平成28年7月4日	障害者雇用支援セミナー (プリンスホテル)	NPO法人 障がい者就業・雇用支援センター 理事長 秦 政氏	1名
平成28年7月24日	TTAPを活用した移行支援について TTAP実践報告 (釧路プリンスホテル)	梅永 雄二氏 大澤 隆則氏	3名
平成28年9月17日	高齢期の障がい者を支えるための支援と制度について理解を深める研修会 (釧路市生涯学習センター)	全国手をつなぐ育成会連合会政策研究開発センター委員 又村 あおい氏	3名
平成28年9月17日	JC-NET ジョブコーチ実践フォーラム in釧路 2016	大妻女子大学 人間関係学部 人間福祉学科 人間福祉学専攻 教授 小川 浩氏	2名
平成28年10月1日	釧路市障がい者虐待防止センター研修会 (釧路プリンスホテル)	社会福祉法人 函館一条 相談支援事業所 一条 藤原 茂法氏 根室圏域障がい者総合相談支援センター「あくせす根室」 浜尾 勇貴氏	10名

5.組織づくり

①職員会議開催状況

会議名	開催回数	主な議題等
個別支援・モニタリング会議	毎月1回	・個別支援計画・モニタリングに関する会議
職員会議	毎月1回 隔月	・次月行事計画、ケース会議、職員研修 ・健康会議

6.主要行事

4月	・第1回父母懇談会	10月	・道東ミニバレーボール大会 ・セレクト活動 ・利用者旅行(日帰り 弟子屈方面)
5月	・セレクト活動	11月	・セレクト活動
6月	・釧路・根室地区パークゴルフ大会	12月	・第3回父母懇談会 ・セレクト活動 ・忘年会
7月	・セレクト活動 ・第2回父母懇談会	1月	・セレクト活動
8月	・セレクト活動	2月	・セレクト活動
9月	・利用者旅行(4グループに分かれて網走・北見方面)	3月	・セレクト活動

社会福祉法人 釧路のぞみ協会 はしどい学園分場

平成29年3月31日現在

1.職員の状況

職 種 勤務形態	施設長 (管理者)	サービス管理 責任者	目標工賃達成 指導員	生活支援員	職業指導員
常 勤 専 従	1	1	0	1	1
常 勤 兼 務	0	0	0	0	2
非 常 勤 専 従	0	0	0	1	0
非 常 勤 兼 務	0	0	0	0	0
合 計	1	1	0	2	3

2.利用者の状況

(1)年齢別在籍者数

定員	現員	平均年齢			最高齢	最年少
		男性	女性	全体		
20名	26名	34.3	42.4	37.4	55歳	23歳

	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～	計(人)
男	0	4	6	6	0	0	0	0	16
女	0	0	4	4	2	0	0	0	10

(2)上記利用者在籍期間(新体系に移行してからの在籍期間)

期間 性別	1年未満	1～3年 未満	3～5年 未満	5～10年 未満	10～15年 未満	15～20年 未満	20～25年 未満	25～30年 未満	30年以上	計(人)
男	0	2	14	0	0	0	0	0	0	16
女	0	1	9	0	0	0	0	0	0	10

(3)利用の状況(人)

	前年度から 継続利用	本年度中の 新利用者数	生活の場				
			家庭	他施設	病院	グループホーム	その他
男	15	1	12	1	0	2	0
女	10	0	9	0	0	1	0

※その他の内訳()

(4)退所の状況(人)

	本年度中の 退所者数	退所後の生活の場				
		家庭	他施設	病院	グループホーム	その他
男	0	0	0	0	0	0
女	0	0	0	0	0	0

※その他の内訳()

(5)障害の状況

①障害種別(手帳保持者重複計上)

	身体障害	知的障害	精神障害	合 計
男	1	16	0	17
女	1	10	0	11
計	2	26	0	28

※自立支援医療受給者証保持者 0人

②障害支援区分

	区分なし	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	その他
男	0	1	7	6	2	0	0	16
女	0	0	4	6	0	0	0	10
計	0	1	11	12	2	0	0	26

(6)健康管理实施状况

実施項目	実施日	対象者数(人)
内科健診	平成28年5月13日・27日	26
歯牙検診	平成29年1月14日	10
内科検診2回目	平成28年10月14日・21日	26
インフルエンザ予防接種	平成28年11月16日・18日	16

(7)利用者状況

	定員	現員	区分							
			区分なし	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
はしどい学園分場	20名	26名	0	1	10	13	2	0	0	26

(8)事業実施状況]

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(日)
営業日数	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	20	23	269

[illegible]

3.防災

①防災訓練の実施状況

訓練の名称	実施月	想定災害	実施時間帯	訓練内容			
				通報	消火	避難	詳細
避難訓練	28年5月	火災	日中	○	○	○	・厨房から火災が発生した想定で屋外の安全な場所まで避難する訓練を実施。終了後に消火
避難訓練	28年8月	地震津波	日中	—	—	○	・地震発生に伴う津波の避難勧告が出された想定で地域の避難所まで避難する訓練を実施。
避難訓練	28年11月	地震火災	日中	○	—	○	・厨房作業室から火災が発生した想定して屋外の安全な場所まで避難する訓練を実施。終了後に消火訓練を実施

4.人材の育成

①施設内研修実施状況

実施日	研修テーマ	参加人数
平成28年5月28日	・はしどい学園マニュアルについて ・職員就業規則について ・障害者虐待防止法について	5名
平成28年6月28日	・研修報告（メンタルヘルスについて） ・研修報告（コミュニケーション改善で企業力アップ！）	5名
平成28年7月30日	・普通救命講習	5名
平成28年9月27日	・非常災害対策・水害に備えた警戒避難体制・危機発生時の連絡体制	5名
平成28年11月26日	・研修報告（思考の明確化） ・衛生マニュアルについて	5名
平成28年12月3日	・研修報告（道東知的障がい福祉協会新任研修会） ・全国知的障がい福祉関係職員研究大会	5名
平成29年1月16日	・障害者虐待について	5名
平成29年2月13日	・はいどい学園マニュアル書について	5名
平成29年3月25日	・平成27年度インシデント報告 ・口腔機能について	5名

②施設外研修実施状況

実施日	研修名・場所	講師	参加人数
平成28年5月22日	障害者差別解消法 （釧路町あいぱ〜る）	株式会社ミライロ 講師 日本ユニバーサルマナー協会 理事 岸田 ひろ実氏	2名
平成28年7月4日	障害者雇用支援セミナー （プリンスホテル）	NPO法人 障がい者就業・雇用 支援センター 理事長 秦 政 氏	1名
平成28年7月24日	TTAPを活用した移行支援について TTAP実践報告 （釧路プリンスホテル）	梅永 雄二氏 大澤 隆則氏	2名
平成28年9月17日	高齢期の障がい者を支えるための支援と 制度について理解を深める研修会 （釧路市生涯学習センター）	全国手をつなぐ育成会連合会政策 研究開発センター委員 又村 あおい氏	1名

平成28年9月17日	JC- NET ジョブコーチ実践フォーラム in 釧路 2016	大妻女子大学 人間関係学部 人間福祉学科 人間福祉学専攻 教授 小川 浩氏	1名
平成28年10月1日	釧路市障がい者虐待防止センター研修会 (釧路プリンスホテル)	社会福祉法人 函館一条 相談支援事業所 一条 藤原 茂法氏 根室圏域障がい者総合相談支援センター「あくせす根室」 浜尾 勇貴氏	5名

5.組織づくり

①職員会議開催状況

会議名	開催回数	主な議題等
個別支援・モニタリング会議	毎月1回	・個別支援計画・モニタリングに関する会議
職員会議	毎月1回 隔月	・次月行事計画、ケース会議、職員研修 ・健康会議

6.主要行事

4月	・第1回父母懇談会	10月	・道東ミニバレーボール大会 ・セレクト活動 ・利用者旅行(日帰り 弟子屈方面)
5月	・セレクト活動	11月	・セレクト活動
6月	・釧路・根室地区パークゴルフ大会	12月	・第3回父母懇談会 ・セレクト活動 ・忘年会
7月	・セレクト活動 ・第2回父母懇談会	1月	・セレクト活動
8月	・セレクト活動	2月	・セレクト活動
9月	・利用者旅行(4グループに分かれて網走・北見方面)	3月	・セレクト活動

平成28年度 社会福祉法人釧路のぞみ協会 さわらび学園 事業報告

1. 事業の目的

利用者が、安心かつ安全に生活し諸活動が営めるように、個人の意思や人格・権利を尊重し、自立した社会生活を保障するとともに充実した社会参加活動を促進し、利用者の幸せを追求することを目的とする。

(安全・安心な事業利用の保障、人権の尊重、幸せの追求)

2. 運営方針

(1) (共に生きる意識)

常に利用者と時や空間を共有する姿勢を絶やさず、共に支え合い、共に生きるという意識を持って支援に当たる。

(2) (支援の個別化)

利用者個々が持てる能力を充分に発揮し、自主的かつ主体的に生活し諸活動が行えるよう、個別支援計画の充実と支援技術・体制の向上を図る。

(3) (家族の安心と希望)

利用者の家族との連携を重視し、家族が安心して希望が持てるように、十分な協議や説明を行い、理解と同意に基づいた支援を行う。

(4) (関係諸機関との連携)

法人、各市町村や地域、他の福祉・医療サービス提供事業者、関係諸団体等と綿密な連携を図りながら業務を行う。

(5) (自己評価)

常に支援内容の評価に努め、リスク検証や苦情解決システムを用い、利用者の立場に立った支援内容・体制等の確立に努めると共に、利用者の権利擁護をしていく。

3. 事業内容

(1) 障がい者支援施設 さわらび学園

- ① 指定施設入所支援施設
- ② 日中活動支援事業所～指定生活介護事業
- ③ 指定短期入所事業

(2) 社会就労センターらびい

- ① 指定就労継続支援事業B型

(3) プロムナード釧路

- ① 指定共同生活援助(介護サービス包括型)

4. 年度の重点

- (1) ケース会議、個別支援計画会議の充実、(個別)支援マニュアルの充実。各種研修の実施。
(自閉症スペクトラム・強度行動障害・高齢者について等)
- (2) 各事業所(課・係)において、円滑な運営を維持できるよう精査すると共に、改善に努める。
(連携の強化、業務の簡略化・簡素化、省力化・節約、利用収入の研究等)

- (3) 施設・共同生活の生活支援内容・体制の充実。
- (4) 作業工賃について、設定額の向上に努める。(社会就労センターらびい就労継続支援事業B型)
- (5) 活動系・訓練系の事業の支援メニュー内容の充実と定着を図る。
- (6) 利用者の権利擁護に努め、継続した研修等を実施する。
(他施設・事業所の視察研修、各事例研究、講演(企業のマナー、福祉、権利擁護について)、虐待防止の研修等)

社会福祉法人 釧路のぞみ協会 障がい者支援施設 さわらび学園

平成29年3月31日現在

1.職員の状況

職 種 勤務形態	施設長 (管理者)	サービス管理 責任者	嘱託医	看護師	栄養士	生活支援員	事務員
常 勤 専 従	1	1	0	1	1	11	0
常 勤 兼 務	0	0	0	0	0	2	2
非 常 勤 専 従	0	0	1	0	0	16	0
非 常 勤 兼 務	0	0	0	0	0	2	2
合 計	1	1	1	1	1	31	4

2.利用者の状況

【施設入所支援事業】 障がい者支援施設さわらび学園

(1)年齢別在籍者数

定員	現員	平均年齢			最高齢	最年少
		男性	女性	全体		
40名	41名	49.2	49.7	49.4	75歳	27歳

	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～	計(人)
男	0	1	4	4	6	4	1	0	20
女	0	4	1	6	4	5	1	0	21

(2)上記利用者在籍期間(新体系に移行してからの在籍期間)

期間 性別	1年未満	1～3年 未満	3～5年 未満	5～10年 未満	10～15年 未満	15～20年 未満	20～25年 未満	25～30年 未満	30年以上	計(人)
男	1	2	17	0	0	0	0	0	0	20
女	1	3	17	0	0	0	0	0	0	21

(3)入所の状況(人)

	前年度から 継続入所	本年度中の 新入所者数	入所前の生活の場				
			家庭	他施設	病院	グループホーム	その他
男	20	1	1	0	0	0	0
女	21	1	0	0	0	1	0

※その他の内訳()

(4)退所の状況(人)

	本年度中の 退所者数	退所後の生活の場					次年度 継続入所
		家庭	他施設	病院	グループホーム	その他	
男	1	0	0	0	1	0	20
女	1	0	1	0	0	0	21

※その他の内訳()

(5)障害の状況

①障害種別(手帳保持者重複計上)

	身体障害	知的障害	精神障害	合 計
男	3	20	0	23
女	4	21	0	25
計	7	41	0	48

※自立支援医療受給者証保持者 9人

②障害支援区分

	区分なし	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	その他
男	0	0	0	0	4	8	8	20
女	0	0	0	0	6	11	4	21
計	0	0	0	0	10	19	12	41

(6)健康の状況

①服薬の内容

向精神薬物	抗てんかん薬	抗精神病薬	抗不安薬	睡眠薬
	10 人	12 人	11 人	10 人
慢性疾患 1か月以上服用 または治療	心臓疾患	腎臓疾患	糖尿病	喘息
	2 人	1 人	2 人	2 人
	高血圧	泌尿器疾患	内科・消化器科	耳鼻・皮膚科
	3 人	4 人	10 人	12 人

②受診科目の内容

		実人数	延人数
通院治療	精神科	15	168
	脳神経外科	1	4
	内科・小児科	9	97
	外科・整形外科	1	8
	耳鼻咽喉科	5	36
	歯科	4	14
	皮膚科	5	9
	眼科	4	12
	その他		46
往診	皮膚科	18	169
	歯科	34	402
	その他		
計			965

③健康管理実施状況

実施項目	実施日	対象者数(人)
内科健診	平成28年4月20日/平成28年10月19日	41
歯科検診	毎月木曜日往診	41
肺がん検診	平成28年7月6日	30
大腸菌・赤痢菌検査	平成28年8月	33

B.C肝炎検査	平成28年10月19日	33
胃がん健診	平成28年11月7日	31
インフルエンザ予防接種	平成28年11月11日	42
子宮がん・乳がん検診	平成28年12月8日	6
エキノкокクス検査	平成29年2月24日	34

(7)利用者状況

	定員	現員	性別	障害支援区分							
				区分なし	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
さわらび学園	40名	41名	男	0	0	0	0	4	8	8	20
			女	0	0	0	0	6	11	4	21

(8)事業実施状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(日)
営業日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(人)
利用者実人数	42	43	42	42	42	42	41	41	41	41	41	41	499
利用者延人数	1,194	1,197	1,226	1,257	1,225	1,189	1,237	1,196	1,184	1,170	1,118	1,228	14,421

【生活介護事業】 障がい者支援施設さわらび学園

(1)年齢別在籍者数

定員	現員	平均年齢			最高齢	最年少
		男性	女性	全体		
40名	42名	48.3	49.7	49.0	75歳	27歳

	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～	計(人)
男	0	1	5	4	6	4	1	0	21
女	0	4	1	6	4	5	1	0	21

(2)上記利用者在籍期間(新体系に移行してからの在籍期間)

期間 性別	1年未満	1～3年 未満	3～5年 未満	5～10年 未満	10～15年 未満	15～20年 未満	20～25年 未満	25～30年 未満	30年以上	計(人)
男	2	2	17	0	0	0	0	0	0	21
女	1	3	17	0	0	0	0	0	0	21

(3)入所の状況(人)

	前年度から 継続入所	本年度中の 新入所者数	入所前の生活の場				
			家庭	他施設	病院	グループホーム	その他
男	21	2	1	0	0	0	1
女	21	1	0	0	0	1	0

※その他の内訳()

(4)退所の状況(人)

	本年度中の 退所者数	退所後の生活の場					次年度 継続入所
		家庭	他施設	病院	グループホーム	その他	
男	1	0	0	0	1	0	21
女	1	0	1	0	0	0	21

※その他の内訳()

(5)障害の状況

①障害種別(手帳保持者重複計上)

	身体障害	知的障害	精神障害	合 計
男	3	21	0	24
女	4	21	0	25
計	7	42	0	49

※自立支援医療受給者証保持者 10人

②障害支援区分

	区分なし	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	その他
男	0	0	0	0	5	8	8	21
女	0	0	0	0	6	11	4	21
計	0	0	0	0	11	19	12	42

(6)利用者状況

	定員	現員	性別	障害支援区分							
				区分なし	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
さわらび学園	40名	42名	男	0	0	0	0	5	8	8	21
			女	0	0	0	0	6	11	4	21

(7)事業実施状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(日)
営業日数	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	20	23	269

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(人)
利用者実人数	43	43	42	42	43	43	43	42	42	42	42	42	509
利用者延人数	922	918	909	947	959	926	950	909	949	937	829	952	11,107
主な活動	・スポーツ活動 ・芸術活動 ・創作活動 ・自立課題活動 ・余暇外出 ・買い物外出 ・旅行 ・その他施設内外活動												

【短期入所】 レスポワールさわらび学園

(1)利用者状況

	定員		利用状況											
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
短期入所	男	2名	1	1	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1
	女	2名	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0

	利用状況(男)												計(人)
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分4	0	1	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	9
区分5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
区分6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

	利用状況(女)												計(人)
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分4	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
区分5	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
区分6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(2)事業実施状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(日)
営業日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
利用者延人数	30	3	0	0	9	39	33	30	52	31	28	31	286

3.防災

(1)防災訓練の実施状況

訓練の名称	実施月	想定災害	実施時間帯	訓練内容			
				通報	消火	避難	詳細
避難訓練	6月	地震津波	日中	×	×	○	
避難訓練	7月	地震津波	日中	×	×	○	指定避難場所へ車輛で避難
避難訓練	8月	地震火災	日中	×	×	○	
避難訓練	9月	地震火災	日中	×	×	○	
避難訓練	10月	火災	夜間	○	×	○	消防署立会いのもと、夜間を想定
避難訓練	2月	火災	夜間	×	×	○	

4.人権擁護の取組み

(1)虐待防止委員会の開催

開催日	主な協議事項
平成28年4月8日	・利用者の痣について ・事業所の状況について
平成28年5月10日	・事業所の状況について
平成28年6月9日	・虐待に繋がる事案の検証について
平成28年7月8日	・虐待に関わる事案について
平成28年8月8日	・虐待に繋がるケース検証事案について
平成28年9月13日	・虐待に繋がるケース検証事案について
平成28年10月4日	・虐待に繋がるケース検証事案について
平成28年11月8日	・薬の確認 ・利用者が興奮した時の対応 ・選挙について
平成28年12月6日	・薬の確認 ・利用者から職員への暴力があった時、予想される時 ・利用者の服装、靴の確認、転倒防止
平成29年1月6日	・障がい者虐待に対する新聞記事 ・利用者から職員への暴力があった時、予想される時 ・利用者の服装、靴の確認、転倒防止 ・利用者の誤食
平成29年2月7日	・利用者から職員への暴力があった時、予想される時 ・利用者の服装、靴の確認、転倒防止 ・利用者の誤食
平成29年3月9日	・利用者から職員への暴力があった時、予想される時 ・利用者の服装、靴の確認、転倒防止

5.人材の育成

(1)施設内研修実施状況

実施日	研修テーマ	参加人数
平成28年4月14日	・利用者の疾病・アレルギー・禁食等について ・利用者の投薬状況一覧 ・救急搬送時の利用者情報一覧	19名
平成28年5月13日	・交通事故について	22名
平成28年6月14日	・職員への支援について	17名
平成28年7月13日	・職員間の連携について	18名
平成28年8月11日	・熱中予防対策について	18名
平成28年9月16日	・防犯対策について	19名

平成28年10月14日	・感染症対策について ・防犯対策について	15名
平成28年11月15日	・自閉症利用者の状況と支援方法の確認 ・権利擁護について ・防災・防犯対策について	23名
平成28年12月14日	・権利侵害の事例	15名
平成29年1月13日	・社会福祉法人制度改革について ・加齢化支援研修報告	25名
平成29年2月14日	・施設見学報告	16名
平成29年3月25日	・施設見学報告	28名

(2)施設外研修実施状況

実施日	研修名・場所	講師	参加人数
平成28年5月22日	・障がい者差別解消法シンポジウム	株式会社 ミライロ 岸田 ひろ実 氏	3名
平成28年5月29日	・釧路地区自閉症・発達障害者支援センターをつくる会	ぽこあぽこ 松田 啓太 氏 のぞみの園 志賀 利一 氏	3名
平成28年6月15日	・SSTスキルアップ研修会	Office 夢風舎 舎長 土屋 徹 氏	3名
平成28年6月18日	・精神疾患の治療とリカバリー	市立釧路総合病院 精神神経科部長 田中 輝明 氏	2名
平成28年7月24日	・TTAP(自閉症スペクトラムの移行アセスメントプロフィール)実践報告会	早稲田大学教育・総合科学学術院 教授 梅永 雄二 氏 石狩市相談支援センター ぶろっぷ所長 大澤 隆則 氏	3名
平成28年9月17日	・JC-NET ジョブコーチ実践セミナーin 釧路2016	NPO法人 ジョブコーチネットワーク 理事長 小川 浩 氏 自立センター 就労支援係長 田村 俊輔 氏	1名
平成28年9月29日	・平成28年度 道東知的障がい福祉協会新任研修会	北海道自閉症協会 新津 和也 氏	5名
平成28年10月1日	・平成28年度 釧路市障がい者虐待防止研修	相談支援事業所 一条 藤原 茂法 氏 あくせす根室 浜尾 勇貴 氏	38名
平成28年11月12日	・自閉症スペクトラム 講演会	京都市児童福祉センター 門 眞一郎 氏 『あたし研究』著者 小道 モコ 氏	3名
平成28年11月27日	・自閉症スペクトラムの方への性教育の実践	北海道発達障害支援センター あおいそら 岩田 昌子 氏	2名
平成28年11月24日	・平成28年度 地域生活定着促進事業推進会議inとかち	北海道保健福祉部福祉局福祉援護課 主査 谷口 直子 氏 釧路保護観察所 主任保護観察官 畠山 茂祥 氏	1名
平成29年1月13日	・発達に課題のある若者の支援について	さっぽろ青少年女性活動協会 若者支援担当課長 松田 考 氏	1名

平成29年3月8日	・ACT研修会	(株)スタートライン 障がい者雇用研究室 室長 刎田 文記 氏	2名
平成29年3月16日	・平成28年度 特定給食施設等従事者研修会	北海道乳業協会 乳和食推進リーダー 大矢 小百合 氏 北海道釧路総合振興局保健環境部保健行政室 生活衛生課 食品保健係長 安田峯則氏	1名

6.組織づくり

(1)職員会議開催状況

会議名	開催回数	主な議題等
職員会議	毎月1回	・次月行事計画、作業評定会議、各作業班からの状況報告 給食会議、各作業班収支状況確認、施設長説明、その他
ケース会議	毎月1回	・個別支援計画に関するケース会議
主任・管理職会議	毎月1回	・職員動向、利用者動向 ・日程、今後の行事について ・その他
管理職会議	毎月1回	・各事業所の運営について ・事業所間の調整
給食会議	毎月1回	・各事業所からの要望 ・給食運営全般に係る会議

(2)各種委員会開催状況

会議名	開催回数	主な議題等
感染予防委員会	毎月1回	・インフルエンザ、ノロウイルス、熱中症等の予防対策について
身体拘束廃止委員会	毎月1回	・身体拘束に繋がるケース検証事案について
事故防止対策委員会	毎月1回	・防犯対策 ・防災対策 ・交通安全 ・その他

7.主要行事

4月		10月	利用者旅行(ミュージカル観劇/札幌) 利用者旅行(阿寒湖畔)
5月	野外昼食会	11月	
6月	利用者旅行(温根湯温泉) 利用者旅行(旭山動物園)	12月	クリスマス会 忘年会
7月	利用者旅行(十勝方面)	1月	新年会
8月	野外昼食会	2月	
9月	利用者旅行(プロ野球観戦/札幌) 野外昼食会	3月	

社会福祉法人 釧路のぞみ協会 社会就労センター らびい

平成29年3月31日現在

1.職員の状況

職 種 勤務形態	施設長 (管理者)	サービス管理 責任者	目標工賃達成 指導員	生活支援員	職業指導員
常 勤 専 従	1	1	1	2	1
常 勤 兼 務	0	0	0	0	0
非 常 勤 専 従	0	0	0	3	9
非 常 勤 兼 務	0	0	0	0	0
合 計	1	1	1	5	10

2.利用者の状況

(1)年齢別在籍者数

定員	現員	平均年齢			最高齢	最年少
		男性	女性	全体		
30名	34名	43.2	38.3	40.8	62歳	22歳

	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～	計(人)
男	0	4	5	4	7	2	0	0	22
女	0	3	6	1	1	1	0	0	12

(2)上記利用者在籍期間(新体系に移行してからの在籍期間)

期間 性別	1年未満	1～3年 未満	3～5年 未満	5～10年 未満	10～15年 未満	15～20年 未満	20～25年 未満	25～30年 未満	30年以上	計(人)
男	1	8	13	0	0	0	0	0	0	22
女	0	3	9	0	0	0	0	0	0	12

(3)利用の状況(人)

	前年度から 継続利用	本年度中の 新利用者数	利用前の生活の場				
			家庭	他施設	病院	グループホーム	その他
男	21	1	0	1	0	0	0
女	12	0	0	0	0	0	0

※その他の内訳()

(4)退所の状況(人)

	本年度中の 退所者数	退所後の生活の場				
		家庭	他施設	病院	グループホーム	その他
男	0	0	0	0	0	0
女	1	1	0	0	0	0

※その他の内訳()

(5)障害の状況

①障害種別(手帳保持者重複計上)

	身体障害	知的障害	精神障害	合 計
男	2	21	1	24
女	1	10	2	13
計	3	31	3	37

※自立支援医療受給者証保持者 6人

②障害支援区分

	区分なし	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	その他
男	5	0	1	4	7	5	0	22
女	0	1	2	4	3	2	0	12
計	5	1	3	8	10	7	0	34

(6)健康管理実施状況

実施項目	実施日	対象者数(人)
内科健診	平成28年4月20日	33
肺ガン健診(X-P検査)	平成28年7月6日	16
血液検査	平成28年10月12日	34
胃がん健診	平成28年11月7日	15
インフルエンザ予防接種	平成28年11月11日	37
子宮がん・乳がん検診	平成28年12月8日	3

(7)利用者状況

	定員	現員	区分							
			区分なし	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
社会就労センター らびい	30名	34名	5	1	3	8	10	7	0	34

(8)事業実施状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(日)
営業日数	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	20	23	269

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(人)
利用者実人数	34	34	35	35	35	35	35	35	35	35	34	34	416
利用者延人数	710	743	722	757	786	744	784	747	782	783	671	768	8,997
らびい本体 利用者延人数	343	357	346	376	368	352	290	289	331	379	329	378	4,138
施設外就労 利用者延人数	367	386	376	381	418	392	494	458	451	404	342	390	4,859
主な活動	・清掃班(市内福祉施設事業所清掃など) ・ポスティング班(チラシ折り・投函)								・菓子班(菓子製造・販売) ・厨房班(昼食の配膳・下膳)				

3.防災

①防災訓練の実施状況

訓練の名称	実施月	想定災害	実施時間帯	訓練内容			
				通報	消火	避難	詳細
避難訓練	28年6月	地震	日中	想定	—	○	・地震発生に伴い屋外の安全な場所まで避難する訓練を実施。
避難訓練	28年8月	地震 津波	日中	想定	—	○	・地震発生に伴う津波の避難勧告が出された想定で地域の避難所まで避難する訓練を実施。
避難訓練	28年10月	火災	日中	想定	想定	○	・厨房作業室から火災が発生した想定して屋外の安全な場所まで避難する訓練を実施。

②安全確保のための点検・会議

項 目	実施日	実施内容
厨房作業室・屋外外壁消毒	平成28年7月	羽アリ殺虫施行
厨房機器保守点検	平成28年7月	菓子班で使用している機器の保守点検・整備・部品交換
厨房機器保守点検	平成28年8月	菓子班で使用している機器の保守点検・整備・部品交換
厨房機器保守点検	平成29年1月	菓子班で使用している機器の保守点検・整備・部品交換
厨房機器保守点検	平成29年2月	菓子班で使用している機器の保守点検・整備・部品交換

4.人権擁護の取組み

①虐待防止委員会の開催

開催日	主な協議事項
平成28年4月8日	・利用者の痣について ・事業所の状況について
平成28年5月10日	・事業所の状況について
平成28年6月9日	・虐待に繋がる事案の検証について
平成28年7月8日	・虐待に関わる事案について
平成28年8月8日	・虐待に繋がるケース検証事案について
平成28年9月13日	・虐待に繋がるケース検証事案について
平成28年10月4日	・虐待に繋がるケース検証事案について
平成28年11月8日	・薬の確認 ・利用者が興奮した時の対応 ・選挙について
平成28年12月6日	・薬の確認 ・利用者から職員への暴力があった時、予想される時 ・利用者の服装、靴の確認、転倒防止
平成29年1月6日	・障がい者虐待に対する新聞記事 ・利用者から職員への暴力があった時、予想される時 ・利用者の服装、靴の確認、転倒防止 ・利用者の誤食
平成29年2月7日	・利用者から職員への暴力があった時、予想される時 ・利用者の服装、靴の確認、転倒防止 ・利用者の誤食
平成29年3月9日	・利用者から職員への暴力があった時、予想される時 ・利用者の服装、靴の確認、転倒防止

5.人材の育成

①施設内研修実施状況

実施日	研修テーマ	参加人数
平成28年4月27日	・アンガーマネジメント研修報告	9名

平成28年5月25日	・交通事故について ・サービス共通評価基準の実施①	12名
平成28年6月27日	・職員への支援について ・SSTについて	10名
平成28年7月27日	・職員間の連携について ・高次脳機能障害について	12名
平成28年8月24日	・熱中症予防対策について ・サービス共通評価基準の実施②	10名
平成28年9月28日	・防犯対策について ・サービス共通評価基準の実施③	10名
平成28年10月26日	・感染症対策について ・介護福祉士資格取得について ・救命救急講習	12名
平成28年11月30日	・権利擁護について ・防災・防犯対策について ・価値観について	10名
平成28年12月21日	・権利侵害の事例について	10名
平成29年1月18日	・社会福祉施設等における防犯点検項目について ・社会福祉法人制度改革について	13名
平成29年3月15日	・防犯・防災対策について ・利用者の喉詰まりについて ・交通安全について	10名

②施設外研修実施状況

実施日	研修名・場所	講師	参加人数
平成28年5月22日	障害者差別解消法 (釧路町あいぱ～る)	株式会社ミライロ 講師 日本ユニバーサルマナー協会 理事 岸田 ひろ実氏	3名
平成28年5月29日	親亡きあとも自閉症の人たちが豊かな生活をおくるために (釧路町あいぱ～る)	独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園事業企画局研究部 志賀 利一氏	1名
平成28年7月23日	子供から大人まで高次脳機能障害者の就労支援 (釧路町あいぱ～る)	瀧沢 学氏	1名
平成28年7月27日	平成28年度 釧路市障がい者虐待防止センター研修会 事例を通じて虐待防止を考える～虐待事例から見える早期対応 (釧路プリンスホテル)	社会福祉法人 函館一条 相談支援事業所 一条 藤原 茂法氏 根室圏域障がい者総合相談支援センター「あくせす根室」 浜尾 勇貴氏	6名
平成29年9月17日	JC-NET ジョブコーチ実践フォーラム in釧路 2016	大妻女子大学 人間関係学部 人間福祉学科 人間福祉学専攻 教授 小川 浩氏	2名

6.組織づくり

①職員会議開催状況

会議名	開催回数	主な議題等
ケース会議	毎月1回	・個別支援計画に関するケース会議
職員会議	毎月1回	・次月行事計画、作業評定会議、各作業班からの状況報告 給食会議、各作業班収支状況確認、施設長説明、その他
主任・管理職会議	毎月1回	・職員動向、利用者動向 ・日程、今後の行事について ・その他
管理職会議	毎月1回	・各事業所の運営について ・事業所間の調整

②各種委員会開催状況

会議名	開催回数	主な議題等
感染予防委員会	毎月1回	・インフルエンザ、ノロウイルス、熱中症等の予防対策について
身体拘束廃止委員会	毎月1回	・身体拘束に繋がるケース検証事案について
事故防止対策委員会	毎月1回	・防犯対策 ・防災対策 ・交通安全 ・その他

7.主要行事

4月		10月	
5月		11月	
6月		12月	・らびい、グループホーム合同クリスマス会
7月	・らびい利用者旅行(帯広方面)	1月	・らびい、グループホーム合同新年会
8月	・焼肉レクリエーション ・釧路地区ボーリング大会	2月	
9月	・釧路地区ミニバレーボール大会 ・全道ハンディキャップ水泳大会	3月	・らびい利用者おつかれさん会

社会福祉法人 釧路のぞみ協会 プロムナード釧路

平成29年3月31日現在

1.職員の状況

職 種 勤務形態	管理者(施設長)	サービス管理責任者	世話人	生活支援員
常 勤 専 従	1	0	0	2
常 勤 兼 務	0	1	12	13
非 常 勤 専 従	0	1	0	1
非 常 勤 兼 務	0	0	0	0
合 計	1	2	12	16

2.利用者の状況

(1)年齢別在籍者数

定員	現員	平均年齢			最高齢	最年少
		男性	女性	全体		
39名	39名	41.5	40.5	41.0	63歳	22歳

	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～	計(人)
男	0	4	8	3	9	0	0	0	24
女	0	2	6	4	2	1	0	0	15

(2)上記利用者在籍期間(新体系に移行してからの在籍期間)

期間 性別	1年未満	1～3年 未満	3～5年 未満	5～10年 未満	10～15年 未満	15～20年 未満	20～25年 未満	25～30年 未満	30年以上	計(人)
男	1	5	0	18	0	0	0	0	0	24
女	2	3	0	10	0	0	0	0	0	15

(3)入所の状況(人)

	前年度から 継続入所	本年度中の 新入所者数	入所前の生活の場				
			家庭	他施設	病院	グループホーム	その他
男	23	1	0	1	0	0	0
女	13	2	1	0	0	1	0

※その他の内訳()

(4)退所の状況(人)

	本年度中の 退所者数	退所後の生活の場					次年度 継続入所
		家庭	他施設	病院	グループホーム	その他	
男	0	0	0	0	0	0	24
女	1	1	0	0	0	0	15

※その他の内訳()

(5)障害の状況

①障害種別(手帳保持者重複計上)

	身体障害	知的障害	精神障害	合 計
男	3	22	2	27
女	3	15	0	18
計	6	37	2	45

※自立支援医療受給者証保持者 9人

②障害支援区分

	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	その他
男	1	2	4	12	5	0	24
女	1	2	5	4	3	0	15
計	2	4	9	16	8	0	39

(6)健康の状況

①服薬の内容

向精神薬物	抗てんかん薬	抗精神病薬	抗不安薬	睡眠薬
	6 人	9 人	9 人	4 人
慢性疾患 1か月以上服用 または治療	心臓疾患	腎臓疾患	B型肝炎	糖尿病
	1 人	1 人	1 人	1 人
	高血圧	高脂血症	鉄欠乏性貧血	子宮内膜症
	2 人	3 人	3 人	1 人
	アレルギー性皮膚炎	アレルギー性鼻炎	椎間板ヘルニア	頻尿
	5 人	5 人	1 人	4 人
	胃潰瘍	腰痛症等	緑内障	白内障
	2 人	4 人	1 人	1 人
	脂漏性湿疹	円錐角膜症	内痔核等	水虫
	1 人	1 人	3 人	5 人
	乾燥肌	セルフカテーテル	その他	
	1 人	1 人	2 人	人

②健康管理実施状況

実施項目	実施日	対象者数(人)
内科健診	平成28年4月20日	31人
肺ガン健診(X-P検査)	平成28年7月6日	16人
血液検査	平成28年10月19日	29人
胃がん健診	平成28年11月7日	12人
インフルエンザ予防接種	平成28年11月11日	28人
子宮がん・乳がん検診	平成28年12月8日	5人

③受診科目の内容

		実人数	延人数
通院治療	精神科	22	102
	脳神経外科	3	18
	内科・小児科	13	71
	外科・整形外科	8	18
	耳鼻咽喉科	7	61
	歯科	13	220
	皮膚科	15	166
	眼科	6	18
	婦人課	4	9
	肛門科	3	17
	心臓血管内科	1	4
	泌尿器科	5	22
	その他	1	9
往診	皮膚科	0	0
	歯科	0	0
	その他	0	0
計			735

(7)利用者状況

ホーム名	定員	現員	区分							
			区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	その他	計
プロムナード鳥取北	5名	5名	1	1	2	1	0	0	0	5
プロムナード公園通Ⅰ	3名	3名	1	0	1	0	1	0	0	3
サテライトシバザクラ	1名	1名	0	0	0	1	0	0	0	1
プロムナード公園通Ⅱ	3名	3名	0	0	1	1	1	0	0	3
プロムナード愛国	6名	6名	0	1	1	3	1	0	0	6
プロムナード昭和中央	5名	5名	0	0	1	2	2	0	0	5
プロムナード芦野	5名	5名	0	1	2	1	1	0	0	5
プロムナード昭和北	5名	5名	0	0	0	3	2	0	0	5
プロムナードれおん	3名	3名	0	0	1	2	0	0	0	3
プロムナードれおんⅡ	3名	3名	0	1	0	2	0	0	0	3
合 計			2	4	9	16	8	0	0	39

(8)事業実施状況

営業日数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(日)
	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
利用のべ人数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(人)
	1,076	1,085	1,042	1,100	1,115	1,103	1,162	1,120	1,117	1,119	1,054	1,154	13,247
主な活動	・通院支援 ・入浴支援 ・金銭管理 ・個別買い物支援 ・余暇支援 ・クラブ活動(フットサル、ミニバレーボール、水泳、お花サークル、絵画サークル)												

3.防災

①防災訓練の実施状況

訓練の名称	実施月	想定災害	実施時間帯	訓練内容			
				通報	消火	避難	詳細
避難訓練	28年7月	地震津波	夜間	想定	—	○	・地震発生に伴う津波の避難勧告が出された想定で地域の避難所まで避難する訓練を実施。
避難訓練	28年12月	火災	夜間	想定	想定	○	・ホームでの調理中に火災が発生したことを想定して屋外の安全な場所まで避難する訓練を実施。
避難訓練	29年2月	地震火災	夜間	想定	想定	○	・地震発生に伴い火災が発生した想定して屋外の安全な場所まで避難する訓練を実施。

②安全確保のための点検・会議

項 目	実施日	実施内容
消防署の立ち入り検査(芦野)	28年8月4日	・消火器点検、煙感知器設置点検他各種点検及び確認
消防署の立ち入り検査(愛国)	29年1月20日	・消火器点検、煙感知器設置点検他各種点検及び確認

4.人権擁護の取組み

①虐待防止委員会の開催

開催日	主な協議事項
平成28年4月8日	・利用者の痣について ・事業所の状況について
平成28年5月10日	・事業所の状況について
平成28年6月9日	・虐待に繋がる事案の検証について
平成28年7月8日	・虐待に関わる事案について
平成28年8月8日	・虐待に繋がるケース検証事案について
平成28年9月13日	・虐待に繋がるケース検証事案について
平成28年10月4日	・虐待に繋がるケース検証事案について
平成28年11月8日	・薬の確認 ・利用者が興奮した時の対応 ・選挙について
平成28年12月6日	・薬の確認 ・利用者から職員への暴力があった時、予想される時 ・利用者の服装、靴の確認、転倒防止
平成29年1月6日	・障がい者虐待に対する新聞記事 ・利用者から職員への暴力があった時、予想される時 ・利用者の服装、靴の確認、転倒防止 ・利用者の誤食
平成29年2月7日	・利用者から職員への暴力があった時、予想される時 ・利用者の服装、靴の確認、転倒防止 ・利用者の誤食
平成29年3月9日	・利用者から職員への暴力があった時、予想される時 ・利用者の服装、靴の確認、転倒防止

5.人材の育成

①施設内研修実施状況

実施日	研修テーマ	参加人数
平成28年4月13日	・自閉症スペクトラムの人たちが求める支援	16名
平成28年5月11日	・交通事故について	16名

平成28年6月15日	・職員への支援について	17名
平成28年7月20日	・職員間の連携について	18名
平成28年8月17日	・熱中症予防対策について	12名
平成28年9月21日	・防犯対策について	16名
平成28年10月19日	・感染症対策について ・介護福祉士資格取得について	15名
平成28年11月9日	・権利擁護について ・防災・防犯対策について	15名
平成28年12月21日	・権利侵害の事例について	17名
平成29年1月18日	・社会福祉施設等における防犯点検項目について ・社会福祉法人制度改革について	17名
平成29年2月15日	・入浴支援について	16名
平成29年3月15日	・防犯・防災対策について ・利用者の喉詰まりについて ・交通安全について	16名

②施設外研修実施状況

実施日	研修名・場所	講師	参加人数
平成28年5月29日	親亡きあとも自閉症の人たちが豊かな生活をおくるために (釧路町あいぱ〜る)	独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園事業企画局研究部 志賀 利一氏	1名
平成28年7月25日	平成28年度 相談支援専門員・サービス管理責任者等研修会 (釧路市交流ふらざさいわい)	特定非営利活動法人 日本相談支援専門員協会顧問・社会福祉法人 高水福祉会 福岡 寿氏	2名
平成28年7月26日	高齢期の障がい者を支えるための支援と制度について理解を深める (釧路市生涯学習センター)	神奈川県平塚市福祉総務課地域福祉担当 又村 あおい氏	15名
平成28年7月27日	平成28年度 釧路市障がい者虐待防止センター研修会 事例を通じて虐待防止を考える～虐待事案から見える早期対応 (釧路プリンスホテル)	社会福祉法人 函館一条 相談支援事業所一条 藤原 茂法氏 根室圏域障がい者総合相談支援センター「あくせす根室」 浜尾 勇貴氏	15名
平成28年10月12日	平成28年度北海道釧路鶴野支援学校学校見学会	北海道釧路鶴野支援学校 保東氏・犬養氏	6名

6.組織づくり

①職員会議開催状況

会議名	開催回数	主な議題等
ケース会議	毎月1回	・個別支援計画に関するケース会議
職員会議	毎月1回	・次月行事計画、余暇計画、クラブ・サークル活動計画、健康会議、給食会議、施設長説明
主任・管理職会議	毎月1回	・職員動向、利用者動向 ・日程、今後の行事について ・その他
管理職会議	毎月1回	・各事業所の運営について ・事業所間の調整
ホームミーティング	毎月1回	・ホーム内決まりやルールについて、余暇支援について ホーム内の当番について、給食について、その他要望等について

②各種委員会開催状況

会議名	開催回数	主な議題等
感染予防委員会	毎月1回	・インフルエンザ、ノロウイルス、熱中症等の予防対策について
身体拘束廃止委員会	毎月1回	・身体拘束に繋がるケース検証事案について
事故防止対策委員会	毎月1回	・防犯対策 ・防災対策 ・交通安全 ・その他

7.主要行事

4月		10月	
5月		11月	
6月	・道東みどり会 ・ふれあいビールパーティー ・ふれあい広場	12月	・らびい、グループホーム合同クリスマス会
7月		1月	・らびい、グループホーム合同新年会
8月	・焼肉レクレーション ・釧路地区ボーリング大会	2月	
9月	・釧路地区ミニバレーボール大会 ・全道ハンディキャップ水泳大会	3月	

平成28年度 社会福祉法人釧路のぞみ協会 自立センター 事業報告

1. 事業の目的

地域に在住する障害を持つ人達に必要なに応じて必要な相談や援助を行い、社会自立の為の支援・指導を行う。

2. 基本方針

総務課及び支援課を設置し自立センターの適正な運営を図る。部門は共同生活援助 自立センターグループホームブルミエと くしろ・ねむろ障がい者就業・生活支援センターふれん、ジョブコーチ支援事業、相談支援事業 自立センター、くしろジョブトレーニングセンター あらんじえ、多機能型くしろジョブコミュニケーションセンターれぽぜ・ふあふ、くしろジョブリカバリーセンターぷろぐれの7領域を併せ持ち、各領域はそれぞれの目的に沿った支援活動を行いながら、部門として互いに協調・連携して一層の成果を期すると共に、必要に応じて施設部門との連携も図る。

3. 宣誓

私たち自立センター職員は、関係法律を遵守するとともに虐待防止につとめ障害者の権利擁護の立場を厳守いたします。

4. 重点目標

- (1) 施設運営に係る適正・公正な事務及び会計処理を遅滞なく実施する
- (2) 利用者の人権擁護の視点を常に持ち主体的自己決定を支える
- (3) 利用者のニーズをアセスメントし適正なサービス提供につとめる
- (4) 利用者の特性に応じた配慮の提供につとめる
- (5) 新規利用者の確保に勤める

5. 事業内容

(1) 総務課

- ① 会計・経理に関すること
- ② 庶務に関すること

(2) 支援課

(ア) 共同生活援助事業「自立センター グループホーム ブルミエ」

外部委託型グループホームの運営

- ① 生活全般に対する援助活動
- ② 就労に対する援助活動
- ③ 余暇支援
- ④ 介護が必要な利用者の外部委託業務
- ⑤ 関係諸機関・地域との連携

(イ) 相談支援事業「自立センター」

- ① 利用者個々に応じた日常生活全般の相談・援助活動
- ② サービス等利用計画の作成に関する活動

- ③ 地域福祉サービス事業所の情報を適正に利用者等に提供する
- ④ 地域の各関係諸団体との連携を密にすると共に情報・啓蒙活動に努め対象者の拡大を図る
- ⑤ 障害程度区分認定調査の実施
- (ウ) 就業・生活支援センター「くしろ・ねむろ障がい者就労・生活支援センターぷれん」
 - ① 就労に関わる様々な相談・支援活動
 - ② 生活面の相談・支援活動
 - ③ 地域就労ネットワークの構築
 - ④ 就労支援研修会の実施
- (エ) ジョブコーチ支援事業
 - ① 職場での就労または職場適応に課題を有する障害者へ障害特性を踏まえた直接的、専門的な援助を行う。
- (オ) 就労移行支援事業 くしろジョブトレーニングセンター あらんじえ
 - ① 作業支援を通じた職業訓練
 - ② 職業準備支援を通じた職業訓練
 - ③ 社会生活技能支援を通じた対人技能訓練
 - ④ 就業を踏まえた生活支援
 - ⑤ 一般企業への就職斡旋
 - ⑥ 継続的定着支援の提供
- (カ) 就労継続支援B型事業 くしろジョブコミュニケーションセンター れぼぜ
 - ① 作業支援を通じた職業訓練
 - ② 社会生活支援を通じた対人技能訓練
 - ③ 社会自立を目指した生活支援
- (キ) 自立訓練事業 くしろジョブリカバリーセンター ぷろぐれ
 - ① 社会復帰したいという希望のある高次脳機能障害の方に受傷・病状に応じた支援・トレーニングを行う。
 - ② 職場復帰に向けた職場環境の調整

(3)その他

- ① 会議
 - ・各部門会議を定期的実施し支援の充実を図る
 - ・利用者の包括的な支援を目指し関係諸団体と利用者ケース会議を実施する
 - ・各自立支援協議会、専門部会への参加
- ② 研修
 - ・研修会を開催し支援技術・資質の向上を目指す
 - ・支援の知識・技能を高めるための各種研修会への参加及び先進的な取り組みを行っている
 - 機関、施設の見学を積極的に行う

社会福祉法人釧路のぞみ協会 くしろジョブトレーニングセンター あらんじえ

平成29年3月31日現在

【就労移行支援事業】

1.職員の状況

職種	施設長	サービス 管理 責任者	職業 指導員	生活 支援員	就労 支援員
正規	1	1	1	1	2
非正規			11	2	8
合計	1	1	12	3	10

2.利用者の状況

(1)在籍者数

定員	現員
36名	56名

(2)退所の状況(人)

本年度中の 退所者数	移行先	
	一般就労	就労継続A型
22	22	3

(3)障害の状況

①障害種別

種別	身体障害	知的障害	精神障害	その他
人数	1	31	25	
計	1	31	25	

③健康管理实施状况

実施項目	実施日	対象者数(人)
インフルエンザ予防接種	平成28年11月12日	58

3.事業実施状況

営業日数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(日)
	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	20	23	269
利用のべ人数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(人)
	1206	1229	1185	1241	1243	1211	1187	1109	1147	1111	959	1091	13919
主な活動	職業準備訓練												
	職業適性検査・製品製造・接客・グループワーク・職場実習												

4.防災

(1)防災訓練の実施状況

訓練の名称	実施月	想定災害	実施時間帯	訓練内容			
				通報	消火	避難	詳細
避難訓練	5月	地震 火災	日中	想定		○	避難手順の説明を行なう
避難訓練	5月	地震 火災	日中	想定	○	○	防災センターで実施 指導員の講習受講

②安全確保のための点検・会議

項目	実施日	実施内容
除雪業務	平成29年1月20日	分担区を設け担当職員が責任をもって行なう 排雪は決められたエリアに集める 10cm以上の降雪時は業者に依頼する
排雪業務	平成29年1月20日	

5.主要行事

4月	室内レクリエーション	10月	園舎清掃 レクリエーション
5月	園舎清掃 レクリエーション 避難訓練	11月	園舎清掃 レクリエーション
6月	園舎清掃 レクリエーション	12月	忘年会
7月	園舎清掃 レクリエーション	1月	レクリエーション
8月	園舎清掃 レクリエーション	2月	レクリエーション
9月	園舎清掃 焼き肉レクリエーション	3月	レクリエーション

6.虐待防止に関する取組み

(1)施設内研修

開催日	内容
平成28年4月20日	虐待防止に係わる取組み全般についての研修

(2)外部講師を招聘しての研修

開催日	内容
平成29年3月22日	釧路市虐待防止センターから講師を招聘して社団法人 日本社会福祉士会の「障害者虐待と権利擁護」(資料)を用いての研修

7. 研修関係

(1) 外部講師を招聘しての研修

実施日	研修名・場所	講師	参加人数
平成28年 7月23日	TTAPインフォーマルアセスメント 演習・事例検討	早稲田大学教育学部教育心理学 専攻 教授 梅永雄二 氏 石狩市相談支援センターぷろっぷ センター長 大澤隆則 氏	全職員
平成28年 11月5日	SST各部門・実施に関する 演習・アドバイス	土屋 徹 氏 (Office夢風舎 舎長)	全職員

(2) 施設外研修実施状況（各事業委託を含む）

実施日	研修名・場所	講師	参加人数
平成28年 6月15日	SSTスキルアップ研修(心理教育) 生涯学習センター まなぼと	土屋 徹 氏 (Office夢風舎 舎長)	74名
平成28年 6月16日	SSTスキルアップ研修 (ステップバイステップ方式) 交流プラザ さいわい	土屋 徹 氏 (Office夢風舎 舎長)	55名
平成28年 7月4日	障がい者雇用支援セミナー 釧路プリンスホテル	NPO法人障がい者就業・雇用 支援センター 理事長 秦 政 氏	100名
平成28年 7月24日	TTAP実践報告会 釧路プリンスホテル	早稲田大学教育学部教育心理学 専攻 教授 梅永雄二 氏	103名
平成28年 9月17日	ジョブコーチ実践フォーラム 釧路町保健福祉センター	大妻女子大学 人間関係学部 人間福祉学科 人間福祉学専攻 教授 小川 浩 氏	110名
平成28年 11月6日	SSTスキルアップ研修 本人・家族を支える心理教育 心理教育のステップを理解しよう 釧路町保健福祉センター	土屋 徹 氏 (Office夢風舎 舎長)	73名
平成29年 3月8日・9日	ACT研修会 釧路プリンスホテル	株式会社 スタートライン 障がい者雇用研究室 上席カウンセラー 刎田文記 氏	56名

8. 定例職員研修・会議・ケースカンファレンス開催状況（毎週水曜日）

実施日	種別	主な議題・テーマ等
4月	6日 会議	法人/就業規則等について
	13日 研修	障がい特性について
	20日 研修	合理的配慮と虐待防止について
	27日 会議 カンファレンス	4月支援計画立案内容説明・利用半年未満のケース会議
5月	18日 会議	TTAP・DACの改善について
	25日 会議 カンファレンス	5月支援計画立案内容説明・利用半年未満のケース会議・送迎について
6月	1日 研修	個別支援計画について(実習のDACを活用した計画例)
	8日 研修	SSTについて
	22日 研修	TTAPについて(確認事項・研修会について)
	29日 会議 カンファレンス	6月支援計画立案内容説明・利用半年未満のケース会議

7月	6日	研修	TTAP・PLOPP・CSC・CBCについて
	13日	会議	TTAP・CSAWについて
	20日	研修	TTAP・DACについて
	27日	会議 カンファレンス	7月支援計画立案内容説明・利用半年未満のケース会議
8月	3日	研修	サービス等利用計画の説明(当センター利用者の計画)
	10日	研修	施設外就労/施設が支援・地域の実習制度について
	17日	研修	アンガーマネージメントについて
	24日	その他	焼き肉レクリエーション・倉庫の後片付け
	31日	会議 カンファレンス	8月支援計画立案内容説明・利用半年未満のケース会議
9月	7日	会議	利用半年未満(来年3月で終了予定者)のケース会議
	14日	研修	復命研修(職リハ学会・自閉症スペクトラム)
	21日	研修	応用行動分析について
	28日	会議 カンファレンス	9月支援計画立案内容説明・利用半年未満のケース会議
10月	5日	研修	SSTIについて ～事前課題編～
	12日	研修	SSTIについて ～実施後の振り返り編～
	19日	研修	復命研修(J-CORES 認知訓練)
	26日	会議 カンファレンス	10月支援計画立案内容説明・利用半年未満のケース会議 SSTIについて ～研修会スケジュール編～
11月	2日	研修	SSTスキルアップ準備 ～利用者を想定して必要なスキルのピックアップ～
	9日	会議	これから就労するあらんじえ利用者の進捗と今後の協議
	16日	会議	トレーニング機器の取り扱いや利用について
	23日	研修	TTAPを実施した方の現況を把握する
	30日	会議 カンファレンス	支援計画 今月利用開始の利用者のケース会議 あらんじえ利用者の利用半年未満のケース会議
12月	7日	研修	講義と演習 ～実例から学ぶ～ 「暗黙の了解って何?」「あいまい表現って何?」
	14日	会議	年度末振り返り(今後の流れ・入力方法について)
	21日	会議	年度末振り返り(今後の流れ・入力方法について)
	28日	会議 カンファレンス	支援計画 今月利用開始の利用者のケース会議 利用半年未満のケース会議 担務振り返りのまとめ全体発表
1月	4日	会議	年度末振り返り(各班・各係別)
	11日	会議	年度末振り返りの発表(課別)
	18日	会議	年度末振り返りの発表(班・係別)
	25日	会議 カンファレンス	運営計画振り返り 支援計画 今月利用開始・利用半年未満の利用者のケース会議
2月	1日	会議	新年度計画(案)の発表および協議 総務課からの周知事項の説明
	8日	会議	各係の重点目標の発表と協議 各係・各班の経営計画(案)それぞれの協議
	15日	会議	各班・各係の新年度計画(案)の全体発表と協議
	22日	会議 カンファレンス	支援計画検討・利用半年未満者 ケース会議
3月	1日	会議	次年度の担務計画作成
	15日	会議	現金収受の流れについて
	22日	会議	虐待防止について
	29日	会議 カンファレンス	支援計画検討・利用半年未満者 ケース会議

社会福祉法人釧路のぞみ協会 くしろジョブコミュニケーションセンターれぽぜ

平成29年3月31日現在

【就労継続支援B型事業】

1.職員の状況

職種	施設長	サービス 管理 責任者	生活 支援員	目標工賃 達成 指導員	職業 指導員	調理員
正規	1	1		1	2	
非正規			2		6	1
合計	1	1	2	1	8	1

2.利用者の状況

(1)年齢別在籍者数

定員	現員	平均年齢			最高齢	最年少
33名	43名	男 38歳	女 46歳	全体 42歳	70歳	18歳

	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～	計(人)
男	2	10	6	2	4	3	1	0	28
女	0	1	3	7	1	3	0	0	15

(2)上記利用者在籍期間

期間	1年未満	1～3年 未満	3～5年 未満	5～10年 未満	10～15年 未満	15～20年 未満	20～25年 未満	25～30年 未満	30年以上	計(人)
男	2	4	8	14	0	0	0	0	0	28
女	2	5	2	6	0	0	0	0	0	15

(3)退所の状況(人)

	本年度中の 退所者数	退所後の生活の場			
		家庭	他事業所	就労	その他
男	15	3	10	2	
女	2	1	1	0	

(4)障害の状況

①障害支援区分

区分	1	2	3	4	5	6	その他
男	0	5	6	3	0	0	14
女	0	3	2	2	0	0	8
計	0	8	8	5	0	0	22

②健康管理実施状況

実施項目	実施日	対象者数(人)
インフルエンザ予防接種	平成28年11月18日	37

(5)事業実施状況

営業日数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(日)
	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	20	23	269
利用のべ人数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(人)
	798	794	842	897	899	895	861	869	878	839	705	803	10080
主な活動	シール貼り、段ボール折り、ネジ磨き、お菓子箱折り、ポスティング、												

3.防災

(1)防災訓練の実施状況

訓練の名称	実施月	想定災害	実施時間帯	訓練内容			
				通報	消火	避難	詳細
避難訓練	4月	火災	日中	○	○	○	防災機器の説明を行う
避難訓練	5月	地震 火災	日中 想定夜間	想定	○	○	

4.主要行事

4月		10月	厚岸/レクリエーション
5月	花見/レクリエーション	11月	
6月	遊学館/レクリエーション	12月	クリスマス会
7月		1月	
8月		2月	
9月	焼き肉/レクリエーション	3月	運動/レクリエーション

5.虐待防止に関する取組み

(1)施設内研修

開催日	内容
平成28年4月20日	虐待防止に係わる取組み全般についての研修

(2)外部講師を招聘しての研修

開催日	内容
平成29年3月22日	釧路市虐待防止センターから講師を招聘して社団法人 日本社会福祉士会の「障害者虐待と権利擁護」(資料)を用いての研修

6.研修関係

(1)外部講師を招聘しての研修

実施日	研修名・場所	講師	参加人数
平成28年 7月23日	TTAPインフォーマルアセスメント 演習・事例検討	早稲田大学教育学部教育心理学 専攻 教授 梅永雄二 氏 石狩市相談支援センターぷろっぷ センター長 大澤隆則 氏	全職員
平成28年 11月5日	SST各部門・実施に関する 演習・アドバイス	土屋 徹 氏 (Office夢風舎 舎長)	全職員

(2)施設外研修実施状況（各事業委託を含む）

実施日	研修名・場所	講師	参加人数
平成28年 6月15日	SSTスキルアップ研修(心理教育) 生涯学習センター まなぼと	土屋 徹 氏 (Office夢風舎 舎長)	74名
平成28年 6月16日	SSTスキルアップ研修 (ステップバイステップ方式) 交流プラザ さいわい	土屋 徹 氏 (Office夢風舎 舎長)	55名
平成28年 7月4日	障がい者雇用支援セミナー 釧路プリンスホテル	NPO法人障がい者就業・雇用 支援センター 理事長 秦 政 氏	100名
平成28年 7月24日	TTAP実践報告会 釧路プリンスホテル	早稲田大学教育学部教育心理学 専攻 教授 梅永雄二 氏	103名
平成28年 9月17日	ジョブコーチ実践フォーラム 釧路町保健福祉センター	大妻女子大学 人間関係学部 人間福祉学科 人間福祉学専攻 教授 小川 浩 氏	110名
平成28年 11月6日	SSTスキルアップ研修 本人・家族を支える心理教育 心理教育のステップを理解しよう 釧路町保健福祉センター	土屋 徹 氏 (Office夢風舎 舎長)	73名
平成29年 3月8日・9日	ACT研修会 釧路プリンスホテル	株式会社 スタートライン 障がい者雇用研究室 上席カウンセラー 芻田文記 氏	56名

7.定例職員研修・会議・ケースカンファレンス開催状況（毎週水曜日）

実施日	種別	主な議題・テーマ等
4月	6日 会議	法人/就業規則等について
	13日 研修	障がい特性について
	20日 研修	合理的配慮と虐待防止について
	27日 会議 カンファレンス	4月支援計画立案内容説明・利用半年未満のケース会議
5月	18日 会議	TTAP・DACの改善について
	25日 会議 カンファレンス	5月支援計画立案内容説明・利用半年未満のケース会議・送迎について
6月	1日 研修	個別支援計画について(実習のDACを活用した計画例)
	8日 研修	SSTについて
	22日 研修	TTAPについて(確認事項・研修会について)
	29日 会議 カンファレンス	6月支援計画立案内容説明・利用半年未満のケース会議

7月	6日	研修	TTAP・PLOPP・CSC・CBCについて
	13日	会議	TTAP・CSAWについて
	20日	研修	TTAP・DACについて
	27日	会議 カンファレンス	7月支援計画立案内容説明・利用半年未満のケース会議
8月	3日	研修	サービス等利用計画の説明(当センター利用者の計画)
	10日	研修	施設外就労/施設が支援・地域の実習制度について
	17日	研修	アンガーマネージメントについて
	24日	その他	焼き肉レクリエーション・倉庫の後片付け
	31日	会議 カンファレンス	8月支援計画立案内容説明・利用半年未満のケース会議
9月	7日	会議	利用半年未満(来年3月で終了予定者)のケース会議
	14日	研修	復命研修(職リハ学会・自閉症スペクトラム)
	21日	研修	応用行動分析について
	28日	会議 カンファレンス	9月支援計画立案内容説明・利用半年未満のケース会議
10月	5日	研修	SSTについて ～事前課題編～
	12日	研修	SSTについて ～実施後の振り返り編～
	19日	研修	復命研修(J-CORES 認知訓練)
	26日	会議 カンファレンス	10月支援計画立案内容説明・利用半年未満のケース会議 SSTについて ～研修会スケジュール編～
11月	2日	研修	SSTスキルアップ準備 ～利用者を想定して必要なスキルのピックアップ～
	9日	会議	これから就労するあらんじえ利用者の進捗と今後の協議
	16日	会議	トレーニング機器の取り扱いや利用について
	23日	研修	TTAPを実施した方の現況を把握する
	30日	会議 カンファレンス	支援計画 今月利用開始の利用者のケース会議 あらんじえ利用者の利用半年未満のケース会議
12月	7日	研修	講義と演習 ～実例から学ぶ～ 「暗黙の了解って何?」「あいまい表現って何?」
	14日	会議	年度末振り返り(今後の流れ・入力方法について)
	21日	会議	年度末振り返り(今後の流れ・入力方法について)
	28日	会議 カンファレンス	支援計画 今月利用開始の利用者のケース会議 利用半年未満のケース会議 担務振り返りのまとめ全体発表
1月	4日	会議	年度末振り返り(各班・各係別)
	11日	会議	年度末振り返りの発表(課別)
	18日	会議	年度末振り返りの発表(班・係別)
	25日	会議 カンファレンス	運営計画振り返り 支援計画 今月利用開始・利用半年未満の利用者のケース会議
2月	1日	会議	新年度計画(案)の発表および協議 総務課からの周知事項の説明
	8日	会議	各係の重点目標の発表と協議 各係・各班の経営計画(案)それぞれの協議
	15日	会議	各班・各係の新年度計画(案)の全体発表と協議
	22日	会議 カンファレンス	支援計画検討・利用半年未満者 ケース会議
3月	1日	会議	次年度の担務計画作成
	15日	会議	現金収受の流れについて
	22日	会議	虐待防止について
	29日	会議 カンファレンス	支援計画検討・利用半年未満者 ケース会議

社会福祉法人釧路のぞみ協会 自立センター くしろジョブリカバリーセンターぷろぐれ

平成29年3月31日現在

【自立訓練事業(生活訓練)】

1.職員の状況

職種	施設長	サービス 管理 責任者	生活 支援員
正規	1	1	1
非正規			
合計	1	1	1

2.利用者の状況

(1)年齢別在籍者数

定員	現員	平均年齢			最高齢	最年少
7名	8名	男 41歳	女 39歳	全体 40歳	54歳	26歳

	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～	計(人)
男		1	2	3	1				7
女			1						1

(2)上記利用者在籍期間

期間	1年未満	1～2年 未満	2～3年 未満	計(人)
男	1	6	0	7
女	0	1	0	1

(3)利用の状況(人)

	前年度から 継続利用	本年度中の 新利用者数	利用前の生活の場				
			家庭	他施設	病院	グループホーム	その他
男	6	1	1				
女	1						

※その他の内訳()

(4)退所の状況(人)

	本年度中の 退所者数	退所後の生活の場					次年度 継続通所
		家庭	他施設	病院	グループホーム	その他	
男	2			1		1	7
女	1					1	1

※その他の内訳(職業復帰、友人宅

(5)障害の状況

①障害種別

	身体障害	精神障害	知的障害	発達障害	その他
男	4	1			2
女	1				
計	5	1	0	0	2

※自立支援医療受給者証保持者 2人

②健康管理実施状況

実施項目	実施日	対象者数(人)
インフルエンザ予防接種	平成28年11月18日	5

(6)利用者状況

定員	現員	障害 程度 区分	区分	1	2	3	4	5	6	その他	計	
7名	8名		男			2					5	7
			女			1						1
			計	0	0	3	0	0	0	0	5	8

(7)事業実施状況

営業日数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(日)
	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	20	23	269
利用のべ人数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(人)
	139	139	103	105	88	99	100	132	97	112	102	131	1347
主な活動	評価(心身機能、活動、参加、環境因子、個人因子、職業適性など)と個別プログラムの立案、心身機能の維持、向上に向けた練習・ADLやIADLの練習・余暇活動の提供・職業準備性向上に向けたトレーニング・心理教育・家族懇談会など												

3.主要行事

4月	あら〜ふあ合同軽運動レク (サンアビリティーズくしろ)	10月	施設見学レク (道新釧路工場)
5月	れぽぜ・ぷあぷ合同お花見レク	11月	軽運動レク (サンアビリティーズくしろ)
6月	施設見学レク (湿原の風アリーナ、釧路外環状線)	12月	クリスマス会
7月	観光レク (道の駅恋問、酪恵舎、パシクル湖)	1月	
8月		2月	

9月	れぽぜ・ぷあぷ合同レク (厚岸子野日公園、愛冠岬、コンキリエ)	3月	観光レク (あっかんべー、道の駅阿寒丹頂の 里、釧路市丹頂鶴自然公園、たんちょう 釧路空港)
----	------------------------------------	----	---

4.日間計画

9:00～9:30	身だしなみチェック 朝のミーティング スケジュール確認 ラジオ体操 MWT
9:30～10:10	個別訓練
10:10～11:30	フィットネスルーム
11:30～11:45	フリータイム
11:45～12:00	実績記録、移動
12:00～13:00	昼休憩
13:00～14:00	個別訓練
14:00～14:50	集団訓練
14:50～15:15	清掃活動
15:15～	帰りのミーティング MWT
15:30～	終了

5.週間計画

	月	火	水	木	金	土
午前	・9:40～ 個別訓練 ・10:10～ フィットネスルーム	・9:40～ 個別訓練 ・10:10～ フィットネスルーム	・9:40～ 個別訓練 ・10:10～ フィットネスルーム	・9:40～ 個別訓練 ・10:10～ フィットネスルーム	・9:40～ 個別訓練 ・10:10～ フィットネスルーム	・9:40～ 個別訓練 ・10:10～ フィットネスルーム
	・13:00～ 個別訓練 ・14:00～ 集団訓練 (グループミーティング)	・13:00～ 個別訓練 ・14:00～ 集団訓練 (SST)		・13:00～ 個別訓練 ・14:00～ 集団訓練 (言語訓練)	・13:00～ 個別訓練 ・14:00～ 集団訓練 (体操)	・13:00～ 個別訓練

6.虐待防止に関する取組み

(1)施設内研修

開催日	内容
平成28年4月20日	虐待防止に係わる取組み全般についての研修

(2)外部講師を招聘しての研修

開催日	内容
平成29年3月22日	釧路市虐待防止センターから講師を招聘して社団法人 日本社会福祉士会の「障害者虐待と権利擁護」(資料)を用いての研修

7.研修関係

(1)外部講師を招聘しての研修

実施日	研修名・場所	講師	参加人数
平成28年 7月23日	TTAPインフォーマルアセスメント 演習・事例検討	早稲田大学教育学部教育心理学 専攻 教授 梅永雄二 氏 石狩市相談支援センターぷろっぷ センター長 大澤隆則 氏	全職員
平成28年 11月5日	SST各部門・実施に関する 演習・アドバイス	土屋 徹 氏 (Office夢風舎 舎長)	全職員

(2)施設外研修実施状況（各事業委託を含む）

実施日	研修名・場所	講師	参加人数
平成28年 6月15日	SSTスキルアップ研修(心理教育) 生涯学習センター まなぼっと	土屋 徹 氏 (Office夢風舎 舎長)	74名
平成28年 6月16日	SSTスキルアップ研修 (ステップバイステップ方式) 交流プラザ さいわい	土屋 徹 氏 (Office夢風舎 舎長)	55名
平成28年 7月4日	障がい者雇用支援セミナー 釧路プリンスホテル	NPO法人障がい者就業・雇用 支援センター 理事長 秦 政 氏	100名
平成28年 7月24日	TTAP実践報告会 釧路プリンスホテル	早稲田大学教育学部教育心理学 専攻 教授 梅永雄二 氏	103名
平成28年 9月17日	ジョブコーチ実践フォーラム 釧路町保健福祉センター	大妻女子大学 人間関係学部 人間福祉学科 人間福祉学専攻 教授 小川 浩 氏	110名
平成28年 11月6日	SSTスキルアップ研修 本人・家族を支える心理教育 心理教育のステップを理解しよう 釧路町保健福祉センター	土屋 徹 氏 (Office夢風舎 舎長)	73名
平成29年 3月8日・9日	ACT研修会 釧路プリンスホテル	株式会社 スタートライン 障がい者雇用研究室 上席カウンセラー 芻田文記 氏	56名

8.定例職員研修・会議・ケースカンファレンス開催状況（毎週水曜日）

実施日	種別	主な議題・テーマ等
4月	6日 会議	法人/就業規則等について
	13日 研修	障がい特性について
	20日 研修	合理的配慮と虐待防止について
	27日 会議 カンファレンス	4月支援計画立案内容説明・利用半年未満のケース会議
5月	18日 会議	TTAP・DACの改善について
	25日 会議 カンファレンス	5月支援計画立案内容説明・利用半年未満のケース会議・送迎について
6月	1日 研修	個別支援計画について(実習のDACを活用した計画例)
	8日 研修	SSTについて
	22日 研修	TTAPについて(確認事項・研修会について)
	29日 会議 カンファレンス	6月支援計画立案内容説明・利用半年未満のケース会議

7月	6日	研修	TTAP・PLOPP・CSC・CBCについて
	13日	会議	TTAP・CSAWについて
	20日	研修	TTAP・DACについて
	27日	会議 カンファレンス	7月支援計画立案内容説明・利用半年未満のケース会議
8月	3日	研修	サービス等利用計画の説明(当センター利用者の計画)
	10日	研修	施設外就労/施設が支援・地域の実習制度について
	17日	研修	アンガーマネージメントについて
	24日	その他	焼肉レクリエーション・倉庫の後片付け
	31日	会議 カンファレンス	8月支援計画立案内容説明・利用半年未満のケース会議
9月	7日	会議	利用半年未満(来年3月で終了予定者)のケース会議
	14日	研修	復命研修(職リハ学会・自閉症スペクトラム)
	21日	研修	応用行動分析について
	28日	会議 カンファレンス	9月支援計画立案内容説明・利用半年未満のケース会議
10月	5日	研修	SSTについて ～事前課題編～
	12日	研修	SSTについて ～実施後の振り返り編～
	19日	研修	復命研修(J-CORES 認知訓練)
	26日	会議 カンファレンス	10月支援計画立案内容説明・利用半年未満のケース会議 SSTについて ～研修会スケジュール編～
11月	2日	研修	SSTスキルアップ準備 ～利用者を想定して必要なスキルのピックアップ～
	9日	会議	これから就労するあらんじえ利用者の進捗と今後の協議
	16日	会議	トレーニング機器の取り扱いや利用について
	23日	研修	TTAPを実施した方の現況を把握する
	30日	会議 カンファレンス	支援計画 今月利用開始の利用者のケース会議 あらんじえ利用者の利用半年未満のケース会議
12月	7日	研修	講義と演習 ～実例から学ぶ～ 「暗黙の了解って何?」「あいまい表現って何?」
	14日	会議	年度末振り返り(今後の流れ・入力方法について)
	21日	会議	年度末振り返り(今後の流れ・入力方法について)
	28日	会議 カンファレンス	支援計画 今月利用開始の利用者のケース会議 利用半年未満のケース会議 担務振り返りのまとめ全体発表
1月	4日	会議	年度末振り返り(各班・各係別)
	11日	会議	年度末振り返りの発表(課別)
	18日	会議	年度末振り返りの発表(班・係別)
	25日	会議 カンファレンス	運営計画振り返り 支援計画 今月利用開始・利用半年未満の利用者のケース会議
2月	1日	会議	新年度計画(案)の発表および協議 総務課からの周知事項の説明
	8日	会議	各係の重点目標の発表と協議 各係・各班の経営計画(案)それぞれの協議
	15日	会議	各班・各係の新年度計画(案)の全体発表と協議
	22日	会議 カンファレンス	支援計画検討・利用半年未満者 ケース会議
3月	1日	会議	次年度の担務計画作成
	15日	会議	現金収受の流れについて
	22日	会議	虐待防止について
	29日	会議 カンファレンス	支援計画検討・利用半年未満者 ケース会議

社会福祉法人釧路のぞみ協会 自立センター グループホームプルミエ

平成29年3月31日現在

【共同生活援助事業】

1.職員の状況

	管理者		サービス管理 責任者		世話人	
	専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務
常勤			1		14	
非常勤	1		1			

2.利用者の状況

(1)在籍者数

定員	現員	性別	
38名	36名	男	女
		25名	11名

※H28. 6. 定員37名から38名に増員

ホーム名	定員	現員	障がい支援区分		
			区分1及び非該当	区分2	区分3
プルミエ	5	4	1	1	2
プルミエドゥ	5	5	4	2	0
ルシエル	4	4	2	1	1
ルシエルドゥ	4	3	2	1	0
ソレイユ	5	5	3	1	1
プレザン	5	5	5	0	0
フェミナン	4	4	1	2	1
フルール	4	4	2	2	0
フルールドゥ	2	2	1	0	0
計	38	36	21	10	5

(2)入所の状況(人)

	前年度から 継続入所	本年度中の 新入所者数	入所前の生活の場				
			家庭	他施設	病院	グループホーム	その他
男	23	3	2				1
女	9	2	2				

※その他の内訳(下宿)

(3)退所の状況(人)

	本年度中の 退所者数	退所後の生活の場					次年度 継続入所
		家庭	他施設	病院	グループホーム	その他	
男	2	0	1	0	0	1	25
女	0	0	0	0	0	0	11

※その他の内訳(一人暮らし)

(4)就労状況

ホーム名	現員	就労状況			
		一般就労	就労継続A型	就労継続B型	就労移行
プルミエ	4	0	0	3	1
プルミエドゥ	5	2	2	1	0
ルシエル	4	3	0	1	0
ルシエルドゥ	3	3	0	0	0
ソレイユ	5	2	1	0	2
プレザン	5	4	1	0	0
フェミナン	4	1	0	3	0
フルール	4	3	0	1	0
フルールドゥ	2	2	0	0	0
計	36	20	4	9	3

3.健康管理

実施項目	実施時期	備考
特定健診	9月～2月	特定健診、子宮健診、大腸検診等
インフルエンザ予防接種	11～12月	利用者全員
体調不良時通院同行	随時	
服薬管理	随時	
体重・血圧測定	月1回	利用者全員
ダイエット支援	随時	対象利用者

4.防災対策

(1)防災訓練の実施状況

訓練の名称	実施月	想定災害	設定時間帯	訓練内容			
				通報	消火	避難	詳細
避難訓練	8月	地震 火災	日中	○	○	○	津波を想定し避難場所まで移動
避難訓練	2月	火災	夜間	○	○	○	世話人不在時の設定

5.行事・余暇支援

実施日	行事	利用者数	同行職員数	行先等
H28.7.15.～17	グループホーム旅行	33	15	大阪、ユニバーサルスタジオ
H28.9.23～25	プルミエグループホーム旅行	3	3	青森、函館方面
H28.10.21	焼肉レクリュエーション	34	6	焼肉ダイニング 弦
H28.12.9	忘年会	37	21	法人役員2 ご家族4
H29.1.13～14	グループホーム新年旅行	11	6	阿寒湖畔
H29.3.5	ボウリングレクリュエーション	9	2	Xボウル、昼食

平成28年度における障害者就業・生活支援センター事業 実施状況報告

＜集計期間：平成28年04月01日～平成29年03月31日＞

(1) 運営法人名 社会福祉法人釧路のぞみ協会

(2) センター名 くしろ・ねむろ障がい者就業・生活支援センターぶれん

(3) 法人におけるその他の事業の実施状況（実施している場合のみ記載）

① ジョブコーチ助成金における第1号ジョブコーチの配置及び支援実施状況

配置数 6 人 支援対象者数 33 人

② 障害者の態様に応じた多様な委託訓練の受託実施状況

訓練受講者数 0 人

注) 以下Ⅰ～Ⅵの項目については、当該法人が実施している他の業務の実績ではなく、
障害者就業・生活支援センター事業の実績を記載すること。

Ⅰ 支援対象障害者の状況

(1) 登録状況（障害種別、就業状況） (人)

	身体障害		知的障害		精神障害	その他の障害	合計
		(うち重度)		(うち重度)			
在職中	56	24	166	57	148	57	427
求職中	6	0	49	4	24	21	100
その他	23	8	89	21	96	53	261
合計	85	32	304	82	268	131	788

※その他の障害内訳

	発達障害	難病	高次脳機能障害	その他	合計
在職中	37	3	3	14	57
求職中	9	0	0	12	21
その他	35	1	0	17	53
合計	81	4	3	43	131

注1) 平成28年度末(平成29年3月末)時点で支援対象として登録している障害者の数を計上する。

四半期報告の第4四半期報告の数値と一致していること。

長期間支援を行っていない者、支援を必要としなくなった者、連絡がとれない者など、登録を取り消した者等は除く。

注2) 「障害種別」及び「就業状況」の区分の仕方については、四半期報告の別添の留意点を確認すること。

(2) 平成28年度中に新規に登録した障害者の数 125 人

(3) 平成28年度新規求職者数（延べ人数） (人)

身体障害	知的障害	精神障害	その他	合計
10	74	33	24	141

※その他内訳

発達障害	難病	高次脳機能障害	その他	合計
13	1	1	9	24

注) 四半期報告毎の新規求職者数の合計と一致すること。

(4) 上記(1)の登録者のうち法人内施設の利用者の割合 約 1 割

(5) 支援対象障害者（登録者）の居住地の状況 (人)

①同一市区町村内	682
②同一障害保健福祉圏域内(①を除く)	99
③上記①及び②以外	7
合計	788

注) 上記(1)の合計と数値が一致しているか確認すること。

(6) 上記(2)の新規登録者の利用経路 (支援センターを利用するに至った経緯(経路)) (人)

①ハローワーク	40
②地域障害者職業センター	0
③特別支援学校	29
④就労移行支援事業所	2
⑤上記④以外の福祉サービス事業所	10
⑥福祉事務所、市町村役場等行政機関	10
⑦直接利用 (家族を含む)	12
⑧上記以外 ※	22
合計	125

注1) 正確な人数の把握が困難な場合は、おおよその数を計上すること。

注2) 上記(2)と合計の数値が一致しているか確認すること。

※「⑧上記以外」の具体的な利用経路

企業、医療機関、一般高等学校、専門学校

II 障害者に対する支援の実施状況

(1) 支援対象障害者に対する相談・支援

① 支援対象障害者に対する相談・支援件数(手段別) (件)

	身体障害	知的障害	精神障害	その他	合計
センターへの来所 (本人のほか、家族等も含む)	99	869	547	671	2,186
電話・Fax・e-mail (本人、家族等からの電話のほか、センターからの電話も含む)	146	1,759	887	1,760	4,552
職場訪問(定着支援のほか、職場実習支援を含む)	61	893	481	434	1,869
家庭・利用施設への訪問	18	215	28	30	291
その他 (ハローワークへの同行訪問、各種手続きの支援、ケース会議への参加等)	225	1,756	549	778	3,308
合計	549	5,492	2,492	3,673	12,206

※その他内訳

	発達障害	難病	高次脳機能障害	その他	合計
センターへの来所 (本人のほか、家族等も含む)	303	7	10	351	671
電話・Fax・e-mail (本人、家族等からの電話のほか、センターからの電話も含む)	221	5	13	1,521	1,760
職場訪問(定着支援のほか、職場実習支援を含む)	44	8	5	377	434
家庭・利用施設への訪問	13	0	0	17	30
その他 (ハローワークへの同行訪問、各種手続きの支援、ケース会議への参加等)	186	0	4	588	778
合計	767	20	32	2,854	3,673

※「その他」の具体的な支援内容

ケース会議、行政・ハローワーク・医療機関への同行支援

② 支援対象障害者に対する相談・支援件数(内容別) (件)

	身体障害	知的障害	精神障害	その他	合計
就職に向けた相談・支援	205	1,914	955	1,685	4,759
職場定着に向けた相談・支援	59	939	623	379	2,000
日常生活、社会生活に関する相談・支援	107	1,642	418	871	3,038
就業と生活の両方にわたる相談・支援	178	997	496	738	2,409
合計	549	5,492	2,492	3,673	12,206

※その他内訳

	発達障害	難病	高次脳機能障害	その他	合計
就職に向けた相談・支援	355	1	5	1,324	1,685
職場定着に向けた相談・支援	61	13	11	294	379
日常生活、社会生活に関する相談・支援	168	0	5	698	871
就業と生活の両方にわたる相談・支援	183	6	11	538	738
合計	767	20	32	2,854	3,673

- 注1) 上記①と合計の数値が一致することを確認すること。
また、四半期報告の12か月分の合計の数値と一致していること。
- 注2) 「就職」「職場定着」「日常生活、社会生活」のいずれかに分類し、分けられない場合のみ「就業と生活の両方にわたる」に分類すること。1回の相談について複数の項目には計上しないこと。
内容別に集計していない場合には、おおよその数値を計上すること。
ただし、日課的に行っている出勤の確認等ごく軽微な電話連絡等は含めないこと。

(2) 個別支援計画の作成状況 (件)

身体障害	知的障害	精神障害	その他	合計
11	69	30	59	169

※その他内訳

発達障害	難病	高次脳機能障害	その他	合計
34	1	1	23	59

(3) 地域障害者職業センターへの職業評価依頼件数 (件)

身体障害	知的障害	精神障害	その他	合計
4	46	16	13	79

※その他内訳

発達障害	難病	高次脳機能障害	その他	合計
8	0	0	5	13

(4) 併設施設又は提携施設における基礎訓練の実施状況 (件)

身体障害	知的障害	精神障害	その他	合計
2	44	13	17	76

※その他内訳

発達障害	難病	高次脳機能障害	その他	合計
11	0	0	6	17

- 注1) 就労移行支援事業者、就労継続支援事業者、授産施設、更生施設等に依頼して実施した基礎訓練の件数を計上する。
- 注2) 企業内授産等は、基礎訓練に含むこと。

(5) 職業準備訓練のあっせん状況 (件)

身体障害	知的障害	精神障害	その他	合計
0	1	0	1	2

※その他内訳

発達障害	難病	高次脳機能障害	その他	合計
0	0	0	1	1

注) (5)と(6)の合計値が、四半期報告の12月分の合計の数値と一致していること。

(6) 職場実習のあっせん状況

(件)

	身体障害	知的障害	精神障害	その他	合計
X. 職場実習（3日以上3ヵ月以内）	0	21	13	5	39
A. 地域障害者職業センター、職場適応援助者助成金によるジョブコーチ雇用前支援	0	0	0	0	0
B. 職場適応訓練（一般、短期）	0	0	0	0	0
C. 障害者委託訓練「実践能力習得訓練コース」、「知識・技能習得訓練コース（職場実習組込型）」	1	7	5	0	13
D. 精神障害者社会適応訓練	0	0	0	0	0
E. 労働局、都道府県又は市町村が独自施策として講じている職場実習制度	1	21	12	5	39
合計	2	49	30	10	91

※その他内訳

	発達障害	難病	高次脳機能障害	その他	合計
X. 職場実習（3日以上3ヵ月以内）	3	0	0	2	5
A. 地域障害者職業センター、職場適応援助者助成金によるジョブコーチ雇用前支援	0	0	0	0	0
B. 職場適応訓練（一般、短期）	0	0	0	0	0
C. 障害者委託訓練「実践能力習得訓練コース」、「知識・技能習得訓練コース（職場実習組込型）」	0	0	0	0	0
D. 精神障害者社会適応訓練	0	0	0	0	0
E. 労働局、都道府県又は市町村が独自施策として講じている職場実習制度	3	0	0	2	5
合計	6	0	0	4	10

注1) 「職場実習等」に計上できるものについては、別添の留意点を確認すること。

注2) (5)と(6)の合計値が、四半期報告の12ヵ月分の合計の数値と一致していること。

※上記のいずれにも区分できないものがあれば、具体的な内容、期間、件数等を記載

登録者2名に対して、野菜選別1日実習行なう。5日間日程の予定が、企業都合により1日実施となる。

(7) 各種就業支援制度の活用状況

(件)

	身体障害	知的障害	精神障害	その他	合計
①地域障害者職業センター、職場適応援助者助成金によるジョブコーチ支援 (上記(6)Cを含む)	0	20	13	2	35
②障害者試行雇用(トライアル雇用)事業	2	6	7	2	17
③その他の就業支援制度 ※	1	10	8	1	20
合計	3	36	28	5	72

※その他内訳

	発達障害	難病	高次脳機能障害	その他	合計
①地域障害者職業センター、職場適応援助者助成金によるジョブコーチ支援 (上記(6)Cを含む)	1	0	0	1	2
②障害者試行雇用(トライアル雇用)事業	1	0	0	1	2
③その他の就業支援制度 ※	1	0	0	0	1
合計	3	0	0	2	5

※「その他の就業支援制度」の具体的な内容

特定求職者開発助成金

(8) 支援対象障害者の就職件数

①一般事業所への就職件数 (※1ヵ月以上の雇用)

(件)

	身体障害		知的障害		精神障害	その他	合計
		(うち重度)		(うち重度)			
一般 (30時間以上)	4	(4)	18	(2)	13	7	42
短時間① (20時間以上30時間未満)	1	(1)	15	(3)	12	2	30
短時間② (20時間未満)	0	(0)	1	(1)	3	0	4
合計	5	(5)	34	6	28	9	76

※その他内訳

	発達障害	難病	高次脳機能障害	その他	合計
一般 (30時間以上)	3	0	1	3	7
短時間① (20時間以上30時間未満)	0	0	0	2	2
短時間② (20時間未満)	0	0	0	0	0
合計	3	0	1	5	9

注1) 「就職件数」の計上の仕方については、別添の留意点を確認すること。(1ヵ月以上の雇用であること等)

注2) 前年度以前に就職し、雇用継続している者の数は含まない。

注3) 四半期報告の12ヵ月分の合計の数値と一致していること。

②就労継続支援雇用型事業所、福祉工場への就職件数

	身体障害		知的障害		精神障害	その他	合計
		(うち重度)		(うち重度)			
一般（30時間以上）	0	(0)	0	(0)	0	0	0
短時間①（20時間以上30時間未満）	4	(2)	12	(5)	10	2	28
短時間②（20時間未満）	0	(0)	3	(1)	2	0	5
合計	4	(2)	15	6	12	2	33

※その他内訳

	発達障害	難病	高次脳機能障害	その他	合計
一般（30時間以上）	0	0	0	0	0
短時間①（20時間以上30時間未満）	1	1	0	0	2
短時間②（20時間未満）	0	0	0	0	0
合計	1	1	0	0	2

③上記①②以外の就職件数

0件

例）1ヵ月未満の雇用等

(9)職場定着支援の実施状況

①職場訪問による職場定着支援の実施件数

1317件

注1) 上記(1)②で計上した職場定着に向けた相談・支援のうち、職場訪問により定着支援を行った件数のみを計上すること。

注2) 四半期報告の12ヵ月分の合計の数値と一致していること。

②平成27年4月から平成28年3月までに就職した者のうち、就職後6ヶ月時点及び就職後1年経過時点の在職者数

A. 平成27年04月 ～ 平成28年03月までの就職件数（27年度実績）（件）

	身体障害		知的障害		精神障害	その他	合計
		(うち重度)		(うち重度)			
一般（30時間以上）	13	(6)	18	(5)	14	1	46
短時間①（20時間以上30時間未満）	2	(1)	15	(2)	11	4	32
短時間②（20時間未満）	0	(0)	0	(0)	2	0	2
合計	15	(7)	33	7	27	5	80

※その他内訳

	発達障害	難病	高次脳機能障害	その他	合計
一般（30時間以上）	0	1	0	0	1
短時間①（20時間以上30時間未満）	2	0	0	2	4
短時間②（20時間未満）	0	0	0	0	0
合計	2	1	0	2	5

注1) 平成27年度年次報告の一般事業所への就職件数(※1ヶ月以上の雇用)と一致していること

B. 上記Aのうち就職後6ヶ月経過時点での在職者数 (人)

	身体障害 (うち重度)	知的障害 (うち重度)	精神障害	その他	合計
合計	12 (5)	31 (7)	24	4	71

※その他内訳

発達障害	難病	高次脳機能障害	その他	合計
2	1	0	1	4

注1) 障害種別の在職者数合計を記載すること

C. 6ヶ月経過時点の定着率 (B/A) (%)

	身体障害 (うち重度)	知的障害 (うち重度)	精神障害	その他	合計
合計	80 (71.5)	94 (100)	88.9	80	88.8

※その他内訳

発達障害	難病	高次脳機能障害	その他	合計
100	100	0	50	80

注1) B欄の合計/A欄の合計 * 100 = 定着率(%)

注2) 小数点第一位まで記入(小数点第二位切り上げ)

D. 上記Aのうち就職後1年経過時点での在職者数 (人)

	身体障害 (うち重度)	知的障害 (うち重度)	精神障害	その他	合計
合計	10 (4)	30 (6)	21	4	65

※その他内訳

発達障害	難病	高次脳機能障害	その他	合計
2	1	0	1	4

注1) 障害種別の在職者数合計を記載すること

E. 1年経過時点の定着率 (D/A) (%)

	身体障害 (うち重度)	知的障害 (うち重度)	精神障害	その他	合計
合計	66.7 (57.2)	91 (85.8)	77.8	80	81.3

※その他内訳

発達障害	難病	高次脳機能障害	その他	合計
100	100	0	50	80

注1) D欄の合計/A欄の合計 * 100 = 定着率(%)

注2) 小数点第一位まで記入(小数点第二位切り上げ)

F. 平成27年4月～平成28年3月までの就職件数のうち、**雇用契約等により1年以内に離職することが
明白な者を除いた就職件数**（27年度実績）

	身体障害		知的障害		精神障害	その他	合計
		(うち重度)		(うち重度)			
一般（30時間以上）	12	(5)	18	(5)	14	1	45
短時間①（20時間以上30時間未満）	2	(1)	15	(2)	9	4	30
短時間②（20時間未満）	0	(0)	0	(0)	2	0	2
合計	14	(6)	33	7	25	5	77

※その他内訳

	発達障害	難病	高次脳機能障害	その他	合計
一般（30時間以上）	0	1	0	0	1
短時間①（20時間以上30時間未満）	2	0	0	2	4
短時間②（20時間未満）	0	0	0	0	0
合計	2	1	0	2	5

注) 上記Aの就職件数から、雇用契約等の内容等により1年以内に離職することが明白な者を除いた就職件数を記載
(1年以内の有期雇用契約であるが、更新規定がある場合等、1年以上引き続き雇用される可能性がある者については件数から除かないこと。)

G. 上記Fのうち就職後1年経過時点での在職者数 (人)

	身体障害		知的障害		精神障害	その他	合計
		(うち重度)		(うち重度)			
合計	10	(4)	30	(6)	21	4	65

※その他内訳

発達障害	難病	高次脳機能障害	その他	合計
2	1	0	1	4

注1) 障害種別の在職者数合計を記載すること

H. 1年経過時点の定着率（G／F） (%)

	身体障害		知的障害		精神障害	その他	合計
		(うち重度)		(うち重度)			
合計	71.5	(66.7)	91	(85.8)	84	80	84.5

※その他内訳

発達障害	難病	高次脳機能障害	その他	合計
100	100	0	50	80

注1) G欄の合計／F欄の合計 * 100 = 定着率(%)

注2) 小数点第一位まで記入(小数点第二位切り上げ)

③定期的な集まり(支援対象障害者同士の交流)開催状況

注) センターの支援対象障害者を対象として取り組んでいることで、センターが主催するものがあれば記載してください。(本人活動支援を含む)※同窓会、茶話会、その他余暇行事等、雇用安定等事業で実施すべきものではないものは除く。

ビジネスマナー講座、体力維持・健康管理について運動機会の提供、単身生活者の就業生活を支えるためのスキル訓練として調理活動、いづれも近況報告と個別相談の時間を含む。また、新規学卒者に対するコミュニケーションスキルアップ講座の開催。

Ⅲ 事業主に対する雇用管理に関する支援の実施状況

(1) 相談・支援を行った事業所数

250 事業所

注) 平成28年度に1回以上相談・支援を行った実事業所数

(2) 相談・支援件数(手段別)

①センターへの来所	87
②電話 (FAX、e-mail等を含む)	908
③企業訪問 (職場開拓、職場定着支援、雇用啓発等を含む)	883
④その他 ※ (ケース会議等を通じた支援)	101
合計	1,979

※「その他」の具体的な支援手段

ケース会議。行政委託の移行支援充実強化事業研修への参加企業に対しての障害者雇用制度の情報提供と個別相談の時間の確保。

(3) 相談・支援件数(内容別)

①雇入れに関する相談・支援	1,096
②雇用する障害者の職場適応・職場定着に関する相談・支援	607
③雇用する障害者の生活面に関する相談・支援	270
④障害者の雇用支援制度に関する相談・支援	0
⑤その他 ※	6
合計	1,979

上記(2)と合計の数値が一致することを確認すること。

注) ①～⑤のいずれかに分類すること。複数項目に渡る場合は主なものに分類し、どれにも当てはまらない場合⑤その他とすること。1回の相談について複数の項目には計上しないこと。
内容別に集計していない場合には、おおよその数値を計上すること。

※「その他」の具体的な支援内容

虐待に対する相談・支援

IV 関係機関との連絡会議の開催状況

(1) 開催回数 注) 個別のケース会議を除く。

① センターが主催

11回

② 他機関が主催するものへの参加

55回

V 支援事例

○ 支援事例について、別添様式により概要をまとめ、添付してください。(1件)

VI 総括

○ 平成28年度における事業の実施状況について総括してください。

今年度は、前年度掲げたように「職場定着支援」に重点を置き、支援を行なってきた。相談開始時点から定着支援は始まっていると考え、アセスメントやマッチングに力を入れた。そのため、前年度よりも職場実習の件数が増加している。また、前年度課題としていた発達障害の方の職場定着率については改善されたが、これについては、就労アセスメントと職場実習によって、適した作業内容や環境が明らかになったことによるものと考えられる。しかしながら、相談件数全体でみると、職場定着支援に係る相談件数は2割に満たない。また、企業からの雇用に関する問い合わせが前年度3割のところ5割に上がり、市の事業の関係もあって、就業・生活支援センターの認知度も高まってきているところであるが、求人だけがあがってきて、それに応募する登録者がいないという状況があった。次年度については定着支援と求職者支援に重点をおき、「現在登録されている在職者・求職者に定期的に頻度高く連絡を入れる」「求人について適宜情報提供をする」といったことをしっかりと取り組んでいく。

社会福祉法人釧路のぞみ協会 指定相談支援事業所 自立センター 事業報告

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

【障害福祉サービス等の利用計画の作成(計画相談支援・障害児相談支援)】

サービス等利用計画についての相談及び作成などの支援が必要と認められる場合に、障害者(児)の自立した生活を支え、障害者(児)の抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けて、ケアマネジメントによりきめ細かく支援するものです。

① サービス等利用計画	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月	
	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外
計 画 相 談 受 理 件 数	13	0	7	0	6	0	3	0	3	0	3	3	5	3	2	1	1	1	3	3	1	0	4	1
計 画 案 作 成 件 数	18	0	11	0	18	6	16	0	20	2	10	0	22	0	4	1	6	1	10	0	13	5	27	0
計 画 作 成 件 数 (※)	24	0	25	1	16	1	26	9	16	0	22	4	17	0	27	1	20	12	22	4	19	0	15	5
モニタリング作成件数(※)	43	1	39	4	50	4	36	4	36	4	28	11	33	8	26	6	27	11	28	11	28	3	19	5
基本的な相談として受けている 相談件数(計画相談の請求に関 わらない相談支援件数)	98	3	138	15	52	1	43	0	94	0	121	17	76	2	101	3	84	6	121	17	94	9	75	10
一般的な相談として受けている 相談件数(契約していない方の相 談支援件数)	216	36	181	26	295	40	233	33	191	25	161	46	155	56	150	19	129	19	161	46	173	42	123	44

② 障害児支援利用計画	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月	
	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外
計 画 相 談 受 理 件 数	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	1	0	0
計 画 案 作 成 件 数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
計 画 作 成 件 数 (※)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	3	0	1	0
モニタリング作成件数(※)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0
基本的な相談として受けている 相談件数(計画相談の請求に関 わらない相談支援件数)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	3	0
一般的な相談として受けている 相談件数(契約していない方の相 談支援件数)	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0

○障がい支援区分認定調査

障がい支援区分は、障害の多様な特性その他の心身の状態に応じて必要とされる標準的な支援の度合を総合的に示すもの。市町村がサービスの種類や量などを決定するための判断材料の一つとして、市内の相談支援事業所の認定調査員に委託して、訪問による聞き取り調査を行います。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
釧路市	10	15	18	14	24	15	16	17	23	19	19	15
釧路市以外						1						

(件)

○研修・会議等

研修名称	日付	場所
JC-NET実践フォーラム	9月17日	あいぱーる
相談支援・就業支援セミナー	10月18・19日	東京ファッションタウンビル
TTAP研修会	10月23日	早稲田大学
SSTスキルアップ研修会	11月5・6日	釧路プリンスホテル
職業リハビリテーション研究・実践発表会	11月10・11日	東京ビックサイト

会議名称	頻度	場所
釧路市自立支援協議会・相談支援部会	月1回	市役所
釧路町サービス評価部会	月1回	あいぱーる